

# NISSHIN

## [湿気硬化型アスファルト防水工法] プレストシステム

建築技術審査証明を取得



公共建築工事標準仕様書のアスファルト防水熱工法と同等の防水性能を有することが認められた「環境配慮型常温積層アスファルト防水工法」です。



ミズ太郎

- 当カタログのデータは全て性能値であり保証値ではありません。
- カタログに掲載してある製品の色は実際のものとは印刷インキの再現上、多少異なる場合があります。
- 材料、仕様は予告なく変更する場合があります。
- 製品の保管及び取扱いについては、SDSを参照の上、ご使用ください。

防水のことがわかるニッシン・オフィシャルサイト <https://www.nisshinkogyo.co.jp/>



総合防水材料メーカー

## 日新工業株式会社

TEL 0120-86-2424

■本社/営業統括部 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4 TEL (03) 3882-2571  
■関東 TEL.(03) 3882-2641 ■九州 TEL.(092) 451-1095 ■広島 TEL.(082) 541-5033  
■大阪 TEL.(06) 6533-3191 ■札幌 TEL.(011) 215-1034 ■横浜 TEL.(045) 316-7885  
■名古屋 TEL.(052) 933-4761 ■仙台 TEL.(022) 393-7209 ■工場 埼玉・山形

Dec. 2022-3000 GP

## 日新工業株式会社

# プレストシステムは従来のアスファルト防水を 新次元の発想で進化・発展させた湿気硬化型の防水工法です。

## プレストシステムとは？

最も信頼性の高い防水工法といわれているアスファルト防水熱工法は、  
評価の高い一方で、アスファルト溶融時に発生する煙や臭気が都市部などでは敬遠されがちでした。  
防水の要となる水密性を維持したまま、この問題を一挙に解決したのが、常温アスファルト“プレストコート”です。  
このプレストコートと改質アスファルトルーフィング等を積層一体化した工法が『プレストシステム』です。

### 常温アスファルト“プレストコート”

プレストコートは1液の無溶剤型特殊改質アスファルトです。常温で施工ができ、広い温度範囲で適切な流動性を保ちます。施工後は湿気と反応し確実に硬化するため均一な高弾性塗膜となります。

### 環境への負荷の低減

プレストシステムは、施工時の煙や臭気、二酸化炭素の発生もありません。

### 信頼性の高い積層工法

プレストコートと新設計の改質アスファルトルーフィングが積層一体化するため、重厚な防水層になり、水密性、耐久性に優れています。

### 常温工法が生む安全性

使用する材料は、特定化学物質を含まないため、作業者に対する安全性が高く、施工現場周辺を汚染することがありません。また、施工において火気などをほとんど使用することがないので、安全に作業ができます。

### 優れた施工性

プレストシステムは、溶融釜のような大型の器具を使用することがなく常温で施工ができるため、作業性が向上しています。

### 広い汎用性

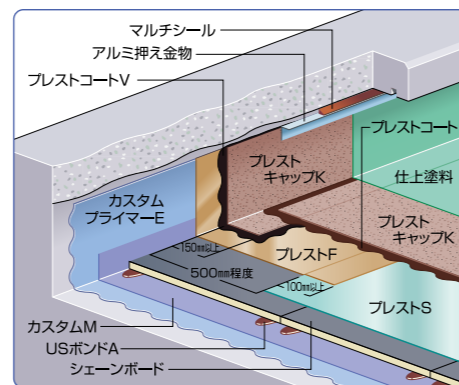
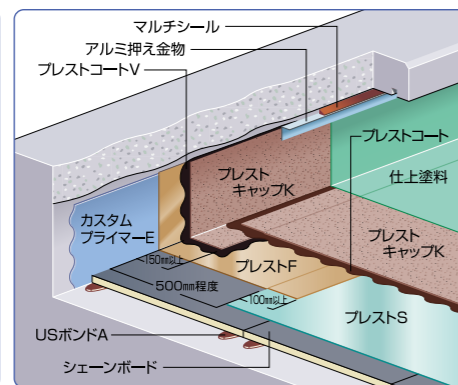
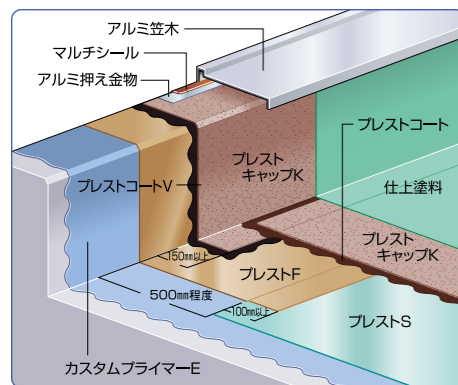
プレストシステムは、屋上防水、屋内防水及び改修工事でも使用できる汎用性の広い防水工法です。

## 目次

プレストシステムとは	p.2~3
防水仕様	p.4~9
施工工程図	p.10~11
技術資料	p.12~15
納まり図例	p.16~17
使用材料	p.18~27
施工のポイント	p.28~31
防水層の維持管理	p.32~33

## 屋上防水

PN-11		PN-12 <sup>※</sup>		PN-12V <sup>※</sup>		
絶縁複層工法		絶縁複層断熱工法		絶縁複層断熱工法(防湿層有)		
適用	公共建築仕様 D-1, D-2同等	適用	公共建築仕様 DI-1, DI-2同等	適用	公共建築仕様 DI-1, DI-2同等	
勾配	1/50~1/20	勾配	1/50~1/20	勾配	1/50~1/20	
重量	7.5kg/m <sup>2</sup>	重量	9.7kg/m <sup>2</sup>	重量	11.4kg/m <sup>2</sup>	
厚み	4.5mm	厚み	4.5mm	厚み	4.5mm	
工程	平場	立上り	平場	立上り	平場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m <sup>2</sup>	カスタムプライマーE 0.2kg/m <sup>2</sup>	USボンドA 0.8kg/m <sup>2</sup>	カスタムプライマーE 0.2kg/m <sup>2</sup>	カスタムプライマーE 0.2kg/m <sup>2</sup>	カスタムプライマーE 0.2kg/m <sup>2</sup>
2	プレストS	プレストF	シェンボード	プレストF	カスタムM	プレストF
3	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	プレストコートV 1.5kg/m <sup>2</sup>	プレストS	プレストコートV 1.5kg/m <sup>2</sup>	USボンドA 0.8kg/m <sup>2</sup>	プレストコートV 1.5kg/m <sup>2</sup>
4	プレストキャップK	プレストキャップK	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	プレストキャップK	シェンボード	プレストキャップK
5	仕上塗料	仕上塗料	プレストキャップK	仕上塗料	プレストS	仕上塗料
6	-	-	仕上塗料	-	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	-
7	-	-	-	-	プレストキャップK	-
8	-	-	-	-	仕上塗料	-



### 飛び火認定について

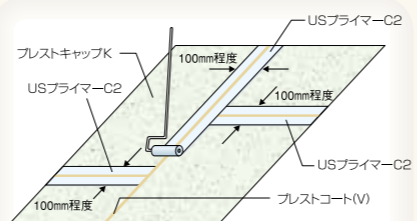
※国土交通省より、飛び火認定(DR-2084(4))を取得いたしました。これにより断熱材の厚さ50mmを超える場合でも法第62条(旧第63条)や法第22条の屋根に適用することができます。(FPクールの場合は塗布0.8kg/m<sup>2</sup>、断熱材の厚さ50mmを超えて300mm以下、コンクリート系下地の場合に限り)

### 注意事項

- RC・PC・ALC下地に適用します。
- ALC下地の場合は、カスタムプライマーEの使用量を0.4kg/m<sup>2</sup>とします。
- 「ニューステンレスベント」を使用した脱気工法の採用をお勧めします。(50~100m<sup>2</sup>に1箇所程度)
- 部分的に防水層に保護材を設ける場合(メンテナンス通路等)は、「トップタイト」を使用することができます。

### 仕上塗料の塗布について

プレストコート(V)はみ出し部には、USプライマーC2(0.2kg/m<sup>2</sup>)を塗布・乾燥後、翌日以降に仕上塗料を塗布します。

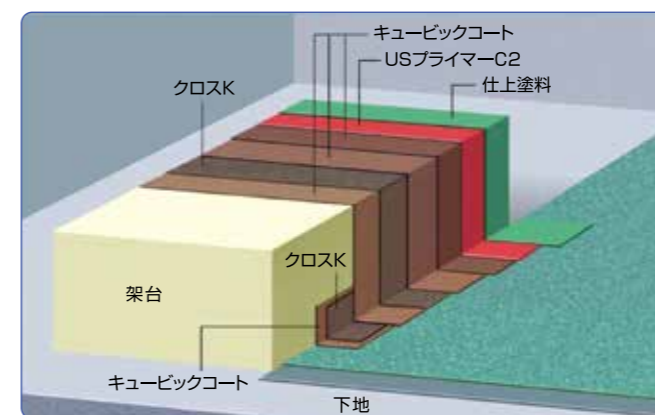


- USプライマーC2は、1缶当たり800m<sup>2</sup>程度施工可能です。

## 架台回り

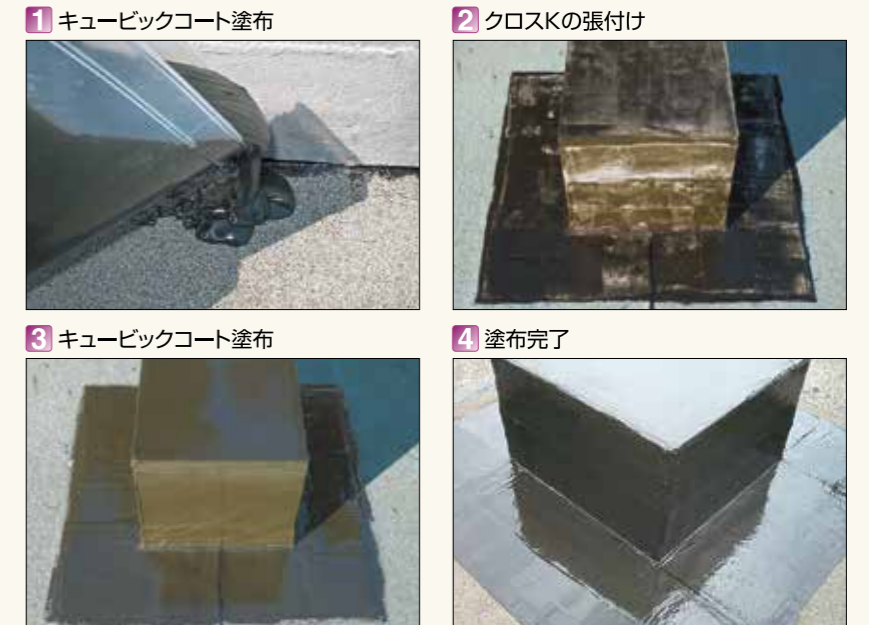
PK-35	
密着工法	
適用	-
勾配	-
重量	3.3kg/m <sup>2</sup> (増塗り分除く)
厚み	1.8mm
工程	平場・立上り
1	キュービックコート(入隅部増塗り) 0.2kg/m <sup>2</sup> (W=200)
2	クロスK張付け(入隅部増張り)
3	キュービックコート 1.0kg/m <sup>2</sup>
4	クロスK張付け
5	キュービックコート 1.0kg/m <sup>2</sup>
6	キュービックコート 1.0kg/m <sup>2</sup>
7	USプライマーC2 <sup>*</sup> 0.2kg/m <sup>2</sup>
8	仕上塗料

※USプライマーC2(0.2kg/m<sup>2</sup>)を塗布・乾燥後、翌日以降に仕上塗料を塗布してください。



**用途** 屋上架台部、狭所、複雑部位にプレストシステムと併用して使用します。

### 施工工程



- 備考**
- 開缶後は放置すると、表面に皮膜が張りますので、使用後は密閉してください。
  - 表面に皮膜が張った場合は、皮膜を取り除いて使用してください。

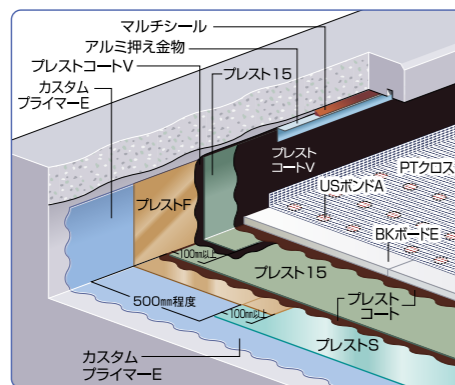
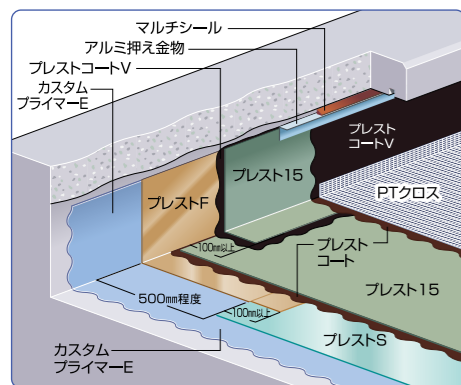
### 仕上塗料一覧

製品名	標準仕上塗料(遮熱)				特殊仕上塗料
	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB <sup>*</sup>	FPクール <sup>*</sup>	ハイクール	ロココート <sup>*</sup>
記号	NZ	MB	FP	H	R
種類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候遮熱	飛び火抑制
塗布量の目安	0.5kg/m <sup>2</sup>	0.5kg/m <sup>2</sup>	0.8kg/m <sup>2</sup>	0.5kg/m <sup>2</sup>	0.8~2.0kg/m <sup>2</sup>
塗替えの目安	7~9年	7~9年	10~13年	10~13年	7~9年

●上記弊社仕上塗料よりご選定ください。弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。 ※受注生産

## 屋上防水

PN-13		PN-14	
絶縁複層工法		絶縁複層断熱工法	
適用	公共建築仕様 A-1, A-2, A-3, B-1, B-2, B-3 同等	適用	公共建築仕様 AI-1, AI-2, AI-3, BI-1, BI-2, BI-3 同等
勾配	1/100~1/50	勾配	1/100~1/50
重量	6.7kg/m <sup>2</sup>	重量	8.0kg/m <sup>2</sup>
厚み	3.0mm	厚み	3.0mm
工程	平場	立上り	平場
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m <sup>2</sup>	カスタムプライマーE 0.2kg/m <sup>2</sup>	カスタムプライマーE 0.2kg/m <sup>2</sup>
2	プレストS	プレストF	プレストS
3	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	プレストコートV 1.5kg/m <sup>2</sup>	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>
4	プレスト15	プレスト15	プレスト15
5	プレストコート* 1.2kg/m <sup>2</sup>	プレストコートV 1.0kg/m <sup>2</sup>	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>
6	PTクロス	-	BKボードE
7	仕上材	-	USボンドA 0.2kg/m <sup>2</sup>
8	-	-	PTクロス
9	-	-	仕上材



### 特記事項

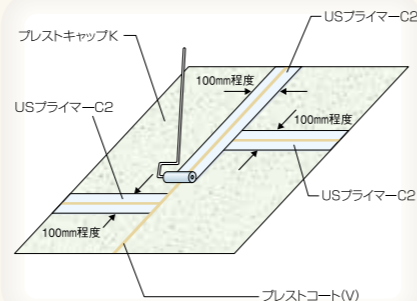
立上りを露出仕様にすることもできます。

立上り	
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m <sup>2</sup>
2	プレストF
3	プレストコートV 1.5kg/m <sup>2</sup>
4	プレストキャップK
5	仕上塗料 (p.5参照)

### 仕上塗料の塗布について

プレストコート(V)のみ出し部には、USプライマーC2 (0.2kg/m<sup>2</sup>) を塗布・乾燥後、翌日以降に仕上塗料を塗布します。

- USプライマーC2は、1缶当たり800m<sup>2</sup>程度施工可能です。

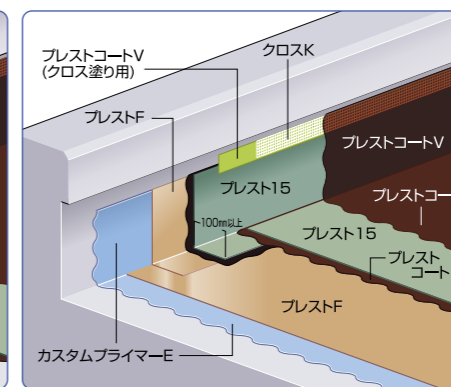
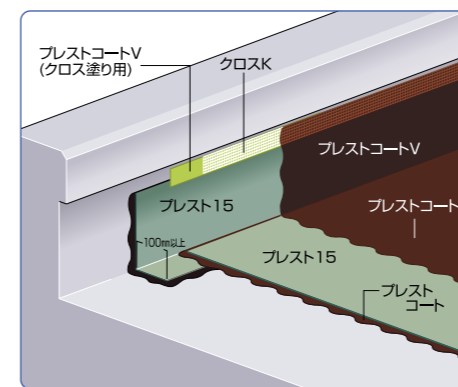


### 注意事項

1. RC・PC・ALC下地に適用します。
  2. ALC下地の場合は、カスタムプライマーEの使用量を0.4kg/m<sup>2</sup>とします。
  3. 防水層端部のシール材は、マルチシールに替えて、USボンドAを使用することもできます。
  4. 「トップタイト」を採用する場合は、最寄りの営業所にご相談ください。
- ※ 当該プレストコートには、硬化促進剤PCの併用を特にお勧めします。

## 屋内防水

PN-55		PN-56	
密着単層工法		密着複層工法	
適用	-	適用	公共建築仕様 E-1, E-2 同等
勾配	1/100~1/20	勾配	1/100~1/20
重量	4.1kg/m <sup>2</sup>	重量	6.3kg/m <sup>2</sup>
厚み	1.5mm	厚み	3.0mm
工程	平場	立上り	平場
1	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	プレストコートV 1.5kg/m <sup>2</sup>	カスタムプライマーE 0.2kg/m <sup>2</sup>
2	プレスト15	プレスト15	プレストF
3	プレストコート* 1.0kg/m <sup>2</sup>	プレストコートV 1.0kg/m <sup>2</sup>	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>
4	-	-	プレスト15
5	-	-	プレストコート* 1.0kg/m <sup>2</sup>



※ 端末にアルミ製L型アンクルを使用する場合は、その上部にシール処理(マルチシール)してください。

### 注意事項

1. PN-56仕様を浴槽に施工する場合、プレストコートに硬化促進剤PCを必ず併用してください。又、シール材を施工する箇所(パイプ回り、ドレン回り等)には、USプライマーM6 (0.1kg/m<sup>2</sup>) を塗布後、翌日にシール材を施工してください。
2. PN-56仕様で浴槽を改修する場合、既存アスファルト防水層は全撤去してください。残存した既存アスファルトには、USプライマーM6 (0.1kg/m<sup>2</sup>) を塗布後、翌日に下地調整を行ってください。

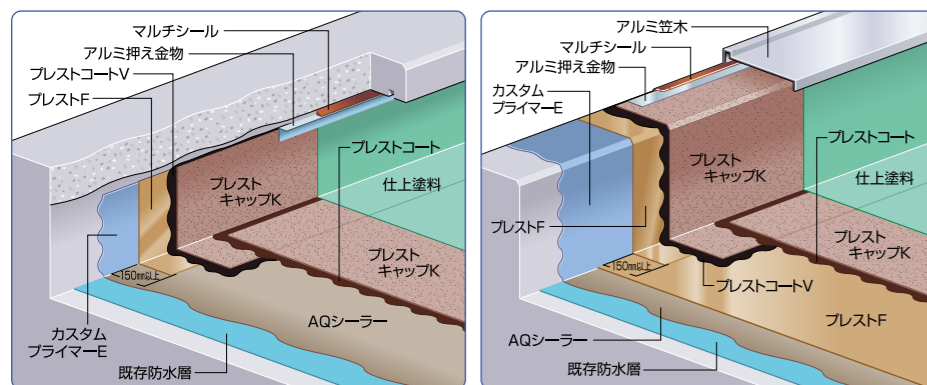
### 仕上材一覧

製品名	保護コンクリート	アースキーパーG	ピロブロック	トップタイト*	PFシステム	カナート
種類	コンクリート(モルタル)	保水パネル	コンクリート成型ブロック	アスファルト成形板	乾式浮床	緑化基盤
仕様記号	C	G	B	T	PF	CT

※ 「トップタイト」は、PN-13にのみ適用します。

## 既設アスファルト防水下地

PR-11		PR-12		
密着単層工法		密着複層工法		
適用	—	適用	公共建築仕様 C-1, C-2, D-1, D-2 同等	
勾配	1/50~1/20	勾配	1/50~1/20	
重量	6.7kg/m <sup>2</sup>	重量	8.7kg/m <sup>2</sup>	
厚み	3.0mm	厚み	4.5mm	
工程	平場	立上り	平場	立上り
1	AQシーラー 1.5kg/m <sup>2</sup>	カスタムプライマー-E 0.2kg/m <sup>2</sup>	AQシーラー 1.5kg/m <sup>2</sup>	カスタムプライマー-E 0.2kg/m <sup>2</sup>
2	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	プレストF	プレストF	プレストF
3	プレストキャップK	プレストコートV 1.5kg/m <sup>2</sup>	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	プレストコートV 1.5kg/m <sup>2</sup>
4	仕上塗料	プレストキャップK	プレストキャップK	プレストキャップK
5	—	仕上塗料	仕上塗料	仕上塗料

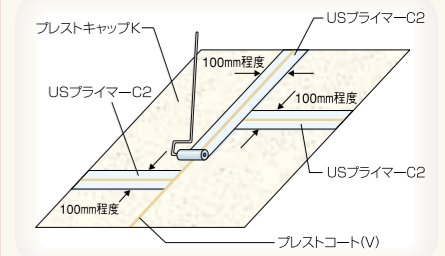


## コンクリート系下地 (RC・保護コンクリート)

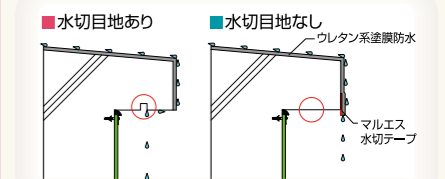
PR-13		PR-14		
絶縁複層工法		絶縁複層断熱工法		
適用	公共建築仕様 C-1, C-2, D-1, D-2 同等	適用	公共建築仕様 DI-1, DI-2 同等	
勾配	1/50~1/20	勾配	1/50~1/20	
重量	7.5kg/m <sup>2</sup>	重量	9.7kg/m <sup>2</sup>	
厚み	4.5mm	厚み	4.5mm	
工程	平場	立上り	平場	立上り
1	カスタムプライマー-E 0.2kg/m <sup>2</sup>	カスタムプライマー-E 0.2kg/m <sup>2</sup>	USボンドA 0.8kg/m <sup>2</sup>	カスタムプライマー-E 0.2kg/m <sup>2</sup>
2	プレストS	プレストF	シェーンボード	プレストF
3	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	プレストコートV 1.5kg/m <sup>2</sup>	プレストS	プレストコートV 1.5kg/m <sup>2</sup>
4	プレストキャップK	プレストキャップK	プレストコート 1.2kg/m <sup>2</sup>	プレストキャップK
5	仕上塗料	仕上塗料	プレストキャップK	仕上塗料
6	—	—	仕上塗料	—

■ 仕上塗料の塗布について  
プレストコート(V)はみ出し部には、USプライマー-C2 (0.2kg/m<sup>2</sup>) を塗布・乾燥後、翌日以降に仕上塗料を塗布します。

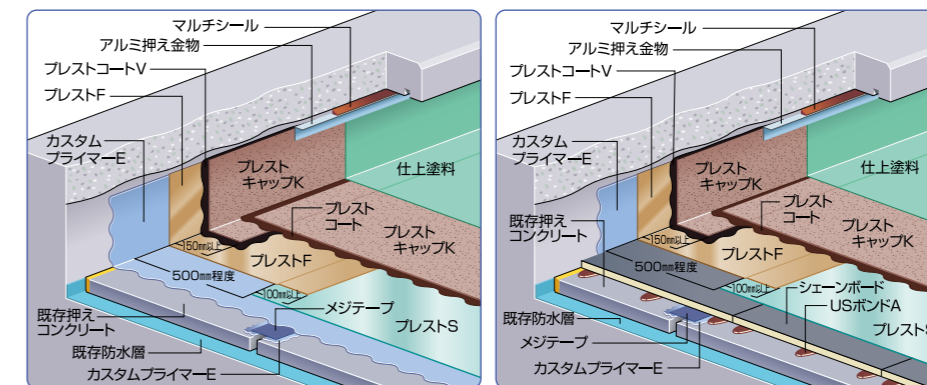
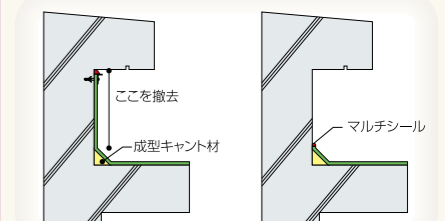
● USプライマー-C2は、1缶当たり800m<sup>2</sup>程度施工可能です。



■ アゴ下に水切目地がない場合  
アゴ下に水切目地がない場合には、「マルエス水切テープ」を使用してください。詳細は「セビロン防水」カタログをご参照ください。



■ 入隅に面取がある場合 (PR-11, 12)  
既存防水層の入隅に面取りがある場合は、成型キャント材の上まで既存防水層を撤去し、雨養生としてマルチシール等でシール処理します。



### 注意事項

1. 立上りの既存保護層や防水層は原則として撤去します。
  2. 部分的に防水層に保護材を設ける場合(メンテナンス通路等)は、「トップタイト」を使用することができます。
- PR-13, 14の場合  
「ニューステンレスベント」を使用した脱気工法の採用をお勧めします。  
(50~100m<sup>2</sup>に1箇所程度)

### 仕上塗料一覧

製品名	標準仕上塗料 (遮熱)				特殊仕上塗料
	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB*	FPクール*	ハイクール	ロココート*
記号	NZ	MB	FP	H	R
種類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候遮熱	飛び火抑制
塗布量の目安	0.5kg/m <sup>2</sup>	0.5kg/m <sup>2</sup>	0.8kg/m <sup>2</sup>	0.5kg/m <sup>2</sup>	0.8~2.0kg/m <sup>2</sup>
塗替えの目安	7~9年	7~9年	10~13年	10~13年	7~9年

● 上記弊社仕上塗料よりご選定ください。弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。 \* 受注生産

プレストの優  
防水仕様  
施工工程図  
技術資料  
納まり図例  
使用材料  
施工のポイント  
防水層の維持管理

# 施工工程図 プレストシステムの施工手順

## 露出断熱工法の施工工程



1. USボンドA 塗布



2. シェーンボード 張付け



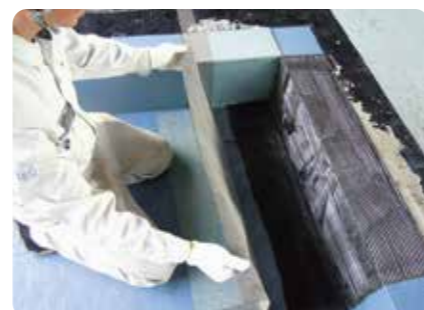
3. 平場 プレストS 張付け



4. 立上り プレストF 張付け



5. 立上り プレストコートV 塗布



6. 立上り プレストキャップK 張付け

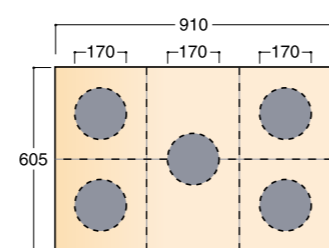


7. 平場 プレストコート 塗布



8. 平場 プレストキャップK 張付け

■ USボンドAの張付け方法



## 保護断熱工法の施工工程



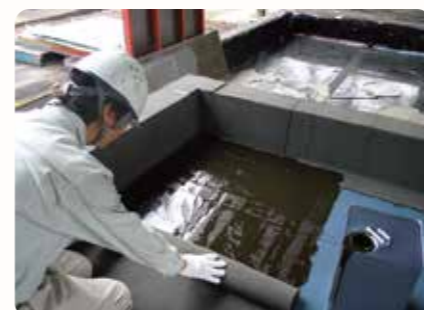
1. カスタムプライマーE 塗布



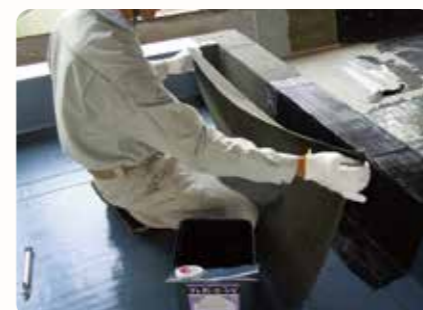
2. 平場 プレストS 張付け



3. 立上り プレストF 張付け



4. 平場 プレスト15 張付け



5. 立上り プレスト15 張付け



6. 立上り プレストコートV 上掛け



7. 平場 プレストコート 上掛け



8. 平場 BKボードE 張付け



9. PTクロス 張付け

プレストの特徴

防水仕様

施工工程図

技術資料

納まり図例

使用材料

施工のポイント

防水層の維持管理

プレストシステムは  
日本建築センターの建築技術審査証明事業により、  
下記の事項が証明されています。

- 公共建築工事標準仕様書に規定されている  
アスファルト防水熱工法と同等の性能を有しています。

プレストシステムの仕様	公共建築(改修)工事標準仕様書
PN-13	A-1, A-2, A-3, B-1, B-2, B-3
PN-14	AI-1, AI-2, AI-3, BI-1, BI-2, BI-3
PN-11 PR-12(改修) PR-13(改修)	C-1, C-2, D-1, D-2
PN-12 PN-12V PR-14(改修)	DI-1, DI-2
PN-56	E-1, E-2



- 火気を使用しないことにより、施工時における燃料消費、二酸化炭素の発生及び臭気・煙の発生がないことで、作業環境・近隣環境の改善を図ることができます。
- アスファルト防水熱工法と比較して、作業工程数の削減及び施工の簡略化により作業効率が向上します。

## 消費エネルギーの低減

	プレストシステム PN-13	公共建築工事共通仕様 A-1
熱アスファルト使用量(kg/m <sup>2</sup> )*1	0	6.0
消費エネルギー量(kJ/m <sup>2</sup> )*2	0	105960
燃料消費量(ℓ/m <sup>2</sup> )*3	0	2.89

\*1 熱アスファルト使用量は、公共建築工事積算基準を参考に試算しています。  
\*2 消費エネルギー量は、防水工事用アスファルトが適正施工温度まで加熱し、及び同温度を6時間維持するのに必要なエネルギーです。  
\*3 燃料は灯油を使用し、灯油の発熱量を36700kJ/ℓとして試算しています。

## 二酸化炭素排出量の低減

	プレストシステム PN-13	公共建築工事共通仕様 A-1
二酸化炭素排出量(kg/m <sup>2</sup> )*4	0	7.19

\*4 二酸化炭素排出量は、灯油を燃料とした場合で試算しています。(2.489kg/ℓ)  
換算値は「環境省 経済産業省 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver 4.7 令和3年1月」によるものです。

## プレストコート(V)・キュービックコートの性状

■ プレストコート(V)・キュービックコートは空気中の湿気により硬化する一液型の材料です。

製品名	プレストコート	プレストコートV	キュービックコート
外観	黒色粘ちょう液	黒色粘ちょう液	黒色粘ちょう液
粘度(23℃) Pa.S	一般用: 10~20 冬用: 5~15	一般用: 180~230 冬用: 60~100	一般用: 60~100 冬用: 10~30

備考・開缶後放置すると、表面に皮膜が張りますので、使用後は密閉してください。  
・表面に皮膜が張った場合は、皮膜を取り除いて使用してください。

■ 接着性能 養生条件: 20℃, 65%RH, 14日養生後  
被着体: プレストキャップ K

下地の種類	剥離接着強さ(N/25mm)
プレスト S	15~20 (T形剥離)
プレストキャップ K	10~15 (T形剥離)
旧砂付ルーフィング	10~20 (T形剥離)
コンクリート	5~10 (180度剥離)
鉄	10~20 (180度剥離)
ステンレス(プライマーM2使用)	6~8 (180度剥離)
鉛	6~8 (180度剥離)
アルミ	10~15 (180度剥離)

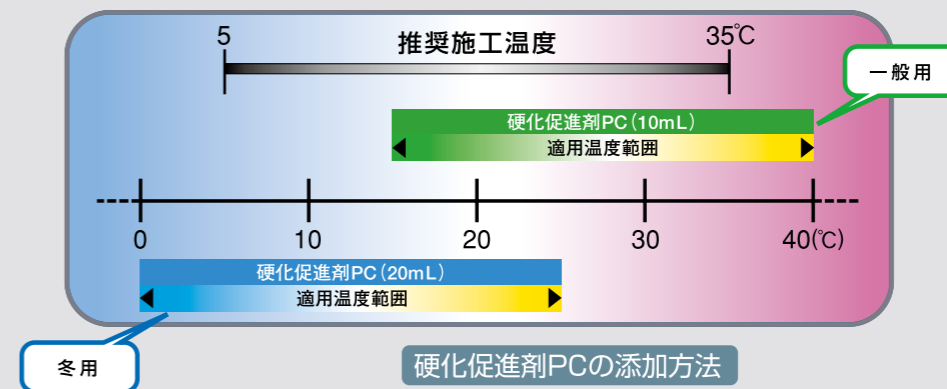
## 硬化促進剤PCについて

### プレストコート(V)の注意事項

プレストコート(V)は湿気硬化型の常温アスファルトなので、完全に硬化するまでは時間を要します。  
25℃で3時間程度の通行制限を検討してください。

### プレストコート(V)の使用方法及び硬化促進剤PCの使用

プレストコートは湿気硬化型の常温アスファルトであるので、シート中央部まで完全に硬化するまでは時間を要します。  
専用の硬化促進剤PCを使用することにより、翌日硬化が可能となります。  
硬化促進剤PCは、プレストコート冬用に対し20mL/缶、一般用に対し10mL/缶の割合で下記の表を参考に添加して使用します。  
※プレストコートVは適用外



### 硬化促進剤PCの添加方法

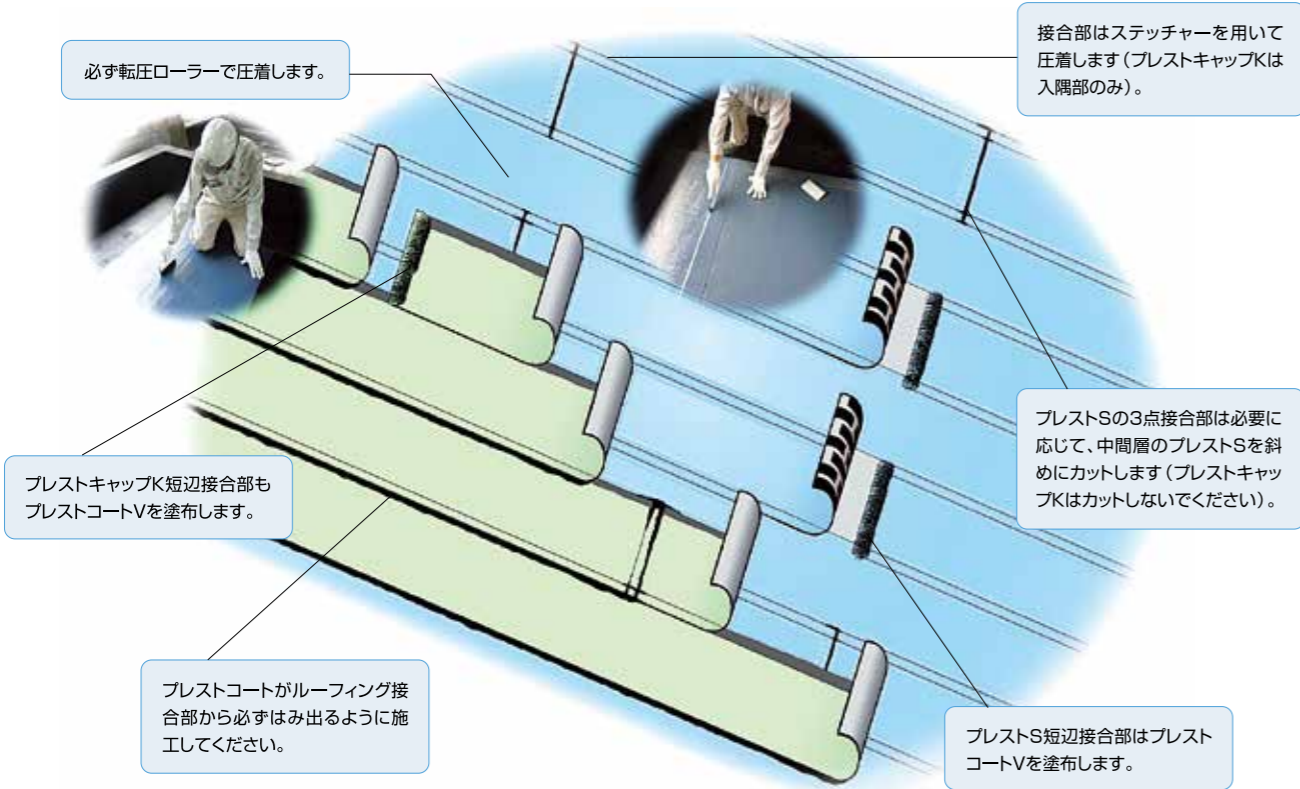
- ① 硬化促進剤PCの瓶をよく振ります。
  - ② プレストコートの缶の上部を開缶し、規定量の硬化促進剤を投入します。
  - ③ 高回転型の攪拌機を用い、2分程度均一に攪拌します。
- ※攪拌したプレストコートは速やかに使用します。

プレストの特徴  
防水仕様  
施工工程図  
技術資料  
納まり図例  
使用材料  
施工のポイント  
防水層の維持管理

## プレストシステムの施工方法について

### 張り方について

ルーフィングは、養生を施した下地面で必ずカットしてください（防水層の上や、空中ではカットしないでください）。



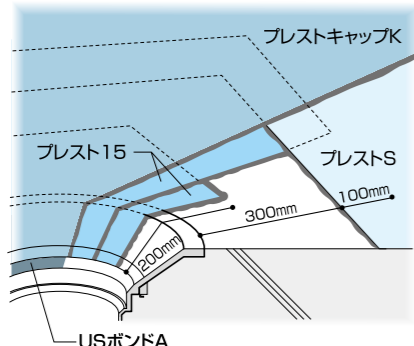
### ■ 接合部処理一覧

製品名	長辺接合	短辺接合	平場張下し	3点接合部	備考
プレストS	100mm以上	100mm以上	—	必要に応じて	短辺接合部はプレストコートVを塗布
プレストF	100mm以上	100mm以上	100mm以上	必要に応じて	
プレスト15	100mm以上	100mm以上	100mm以上	処理なし	
プレストキャップK	100mm以上	100mm以上	150mm以上	処理なし	

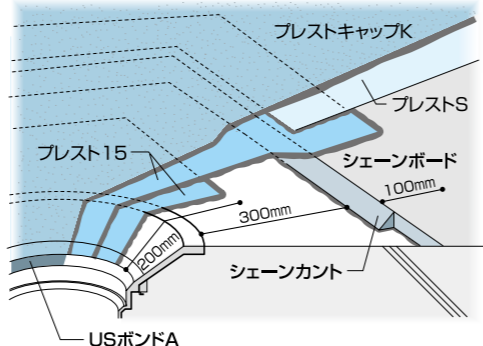
### ドレン回り

露出（断熱）工法の場合、ドレン回りは、下図のように処理します。保護工法の場合は、露出工法と同様に施工し、最上層ルーフィングをプレストキャップKに替えて、プレスト15を張付けます。

#### 露出工法

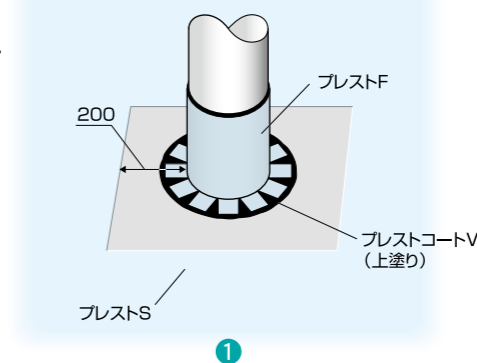


#### 露出断熱工法

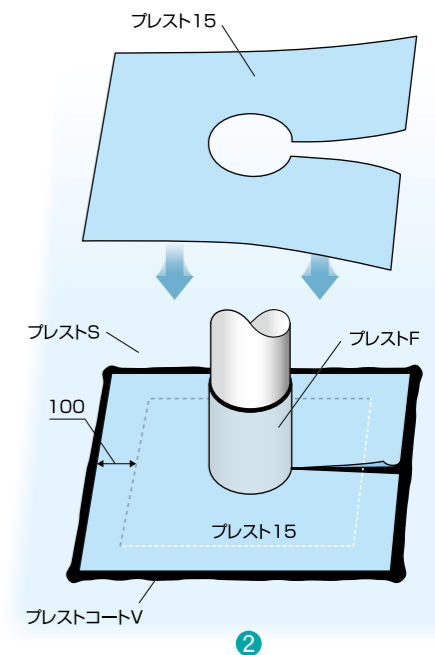


### パイプ回り

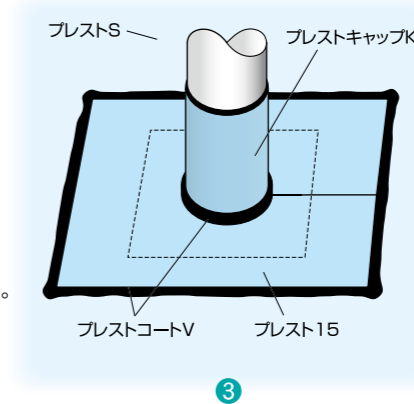
① 下地及びパイプ回りに、カスタムプライマーEを塗布乾燥後、パイプ回りにプレストFを、所定の高さより50mm程度下げて、プレストコートVで張付けます（根元部分はタコ足状にして張付けます）。又、プレストSはパイプ端部より200mm程度離して張付けます。



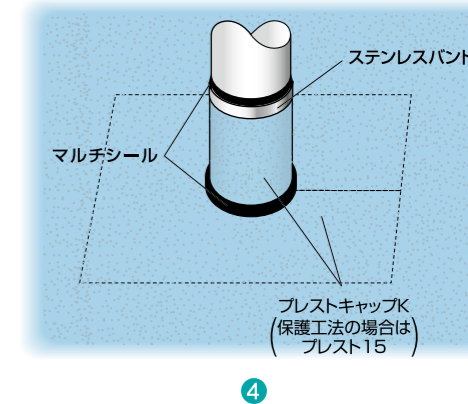
② 平場のプレストSに100mm程度張り掛かるように、プレスト15をプレストコートVで張付けます。



③ パイプ回りにプレストキャップKをプレストコートVで張付けます。



④ 平場も同様に、プレストキャップKをプレストコートVで張付けます。仕上塗料塗布後、防水層の末端はステンレスバンドで締付けた後、マルチシールで処理し、パイプの根元もマルチシールで処理します。



## プレストシステムの施工上の注意点

### 施工前の下地状況確認

- 下地の乾燥は十分か。
- 入隅部は通りよく直角に仕上げ、入隅部分は3~5mm程度の面取りを行っているか。
- 下地の凸部分や突起異物は、サンダー等で除去しているか。
- 下地表面のレイタンスや塵埃、脂分等の汚れは、除去しているか。
- ※ 下地のレベル調整には、プレストコートを使用しないでください。

### 材料の取扱い

- プレストコート類は屋外で直射日光や降雨の当る場所に保管しないでください。
- プレストキャップK、プレスト15等のルーフィング類は横積して保管しないでください。
- 一度開封したプレストコート類は、できるだけその日のうちに使い切ってください。

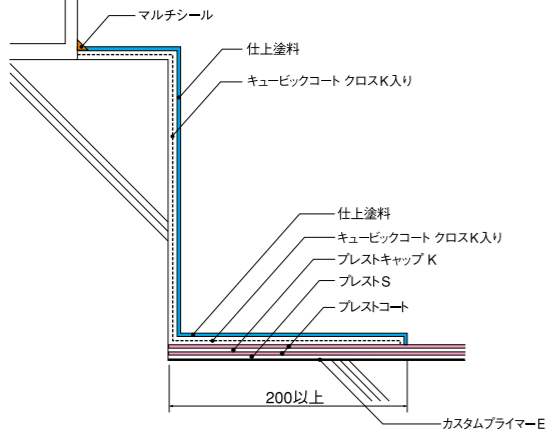
### 施工時の注意事項

- カスタムプライマーEは、粘着層付改質アスファルトルーフィングを張付ける部分にのみ塗布してください。
- プレストコート類は溶剤等で希釈しないでください。
- プレストコート類は硬化後、直接火で炙ると膨れ、変形するため、火気を用いる施工は行わないでください。
- プレストコート施工部は、必要に応じてプレストコートVに変更することができます。
- プレストコート類は湿気硬化型のため、一度に規定量以上を塗布すると硬化不良を起こす場合があります。又、下地調整や注入剤として使用しないでください。
- ルーフィング等の裁断は、鋼製定規等を使用してください。裁断時に端部を持ち上げたり、引っ張って裁断すると切り口が波打ち、端部の浮きに繋がる場合があります。
- 既存防水層にシルバー塗料が残っている場合にAQシーラーを使用すると、反応により発泡（水素ガス）する恐れがありますので、直接の使用を避けてください。

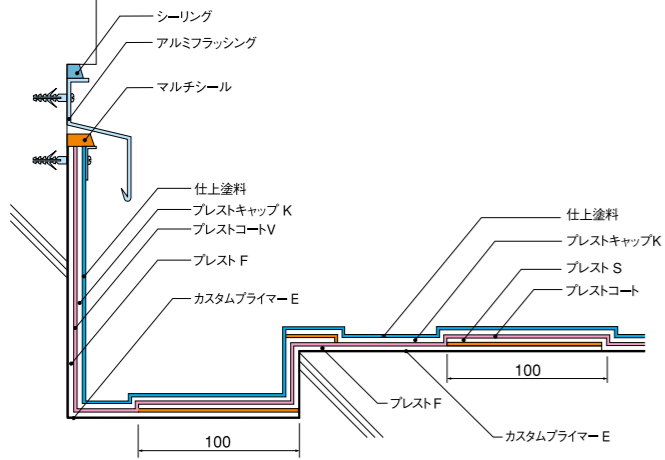


## 屋上防水新設

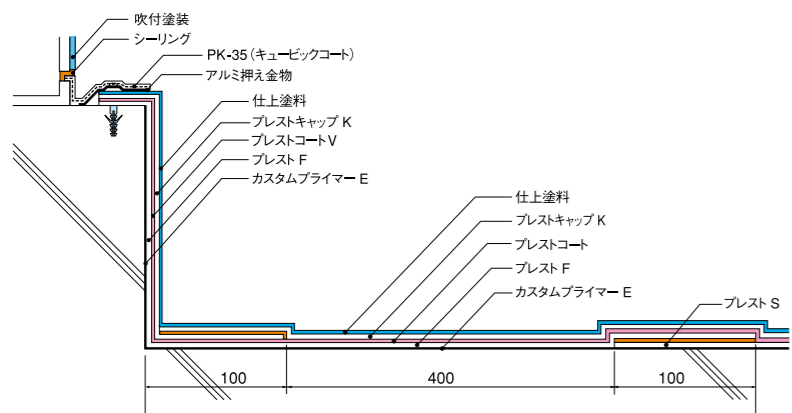
### 架台部



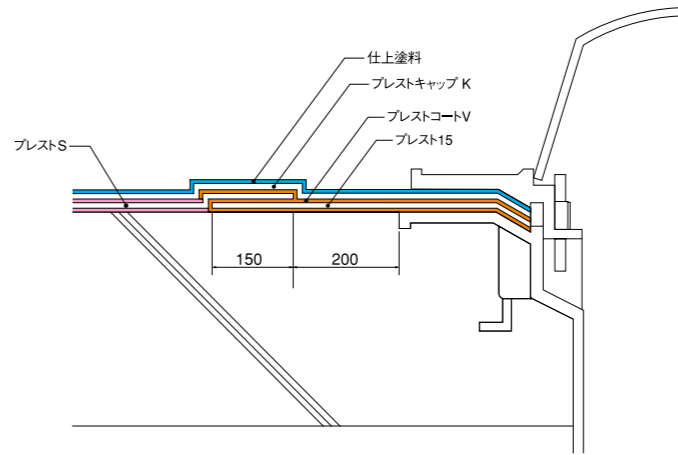
### 側溝部



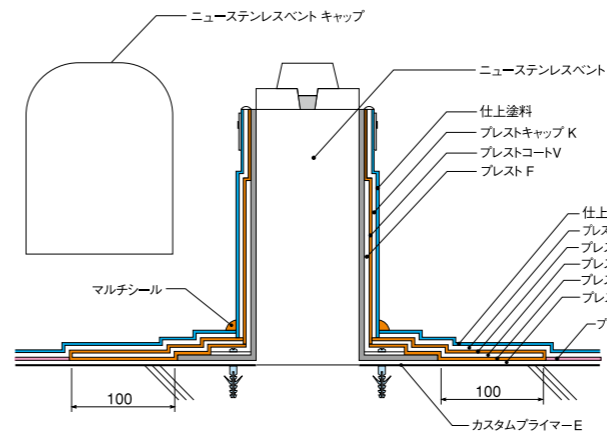
### 壁際立上り部



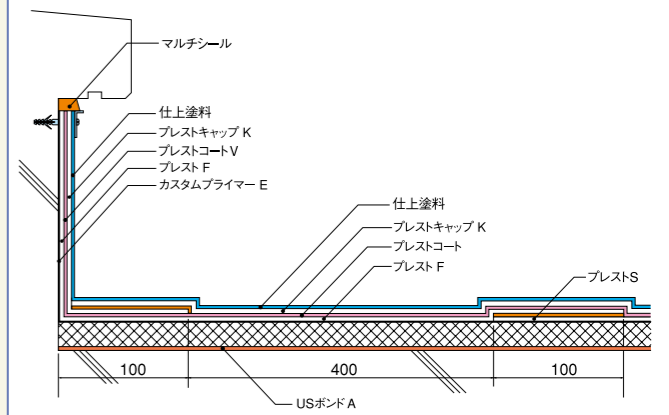
## ドレン部



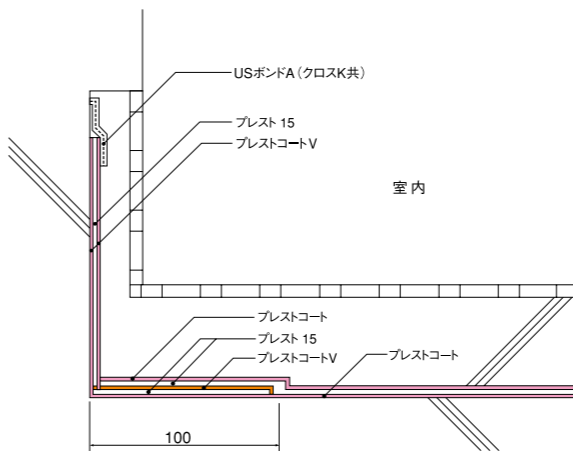
### 脱気筒



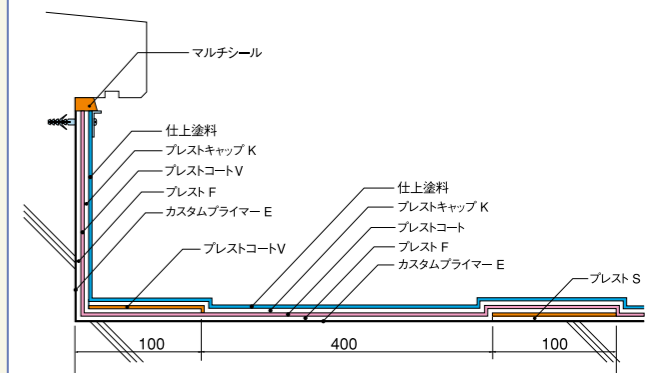
### 断熱露出 (PN-12)



### 屋内 (PN-55)



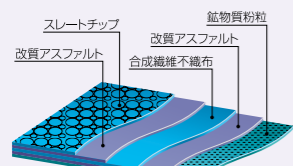
### 防水端末部 (PN-11)



## ルーフィング類

### プレストキャップK

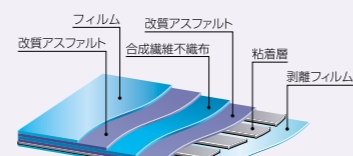
合成繊維不織布を基材とした砂付改質アスファルトルーフィングです。露出防水の最上層に使用します。



■規格：幅1m×長さ8m 厚さ3.0mm  
28kg/巻

### プレストS

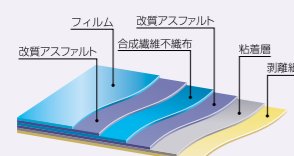
合成繊維不織布を基材とした部分粘着層付改質アスファルトルーフィングです。絶縁工法の最下層に使用します。



■規格：幅1m×長さ16m 厚さ1.5mm  
30kg/巻

### プレストF

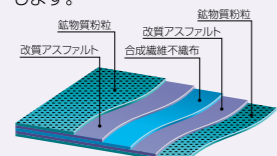
合成繊維不織布を基材とした粘着層付改質アスファルトルーフィングです。密着工法の最下層に使用します。



■規格：幅1m×長さ16m 厚さ1.5mm  
28kg/巻

### プレスト15

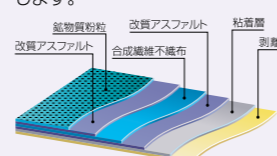
合成繊維不織布を基材とした改質アスファルトルーフィングです。保護防水の最上層や屋内防水に使用します。



■規格：幅1m×長さ16m 厚さ1.5mm  
26kg/巻

### カスタム

合成繊維不織布を基材とした粘着層付改質アスファルトルーフィングです。露出断熱防水の防湿層に使用します。



■規格：幅1m×長さ16m 厚さ1.0mm  
21kg/巻

## 主要資材

### プレストコート

1液型の常温アスファルトです。改質アスファルトルーフィングの張付けと同時に塗膜防水材として機能します。

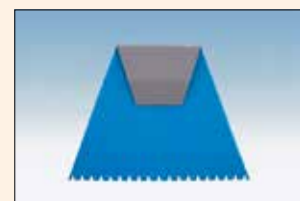
■規格：10kg/缶\*、20kg/缶  
\*受注生産

### プレストコートV

1液型の常温アスファルトです。立上り部の改質アスファルトルーフィングの張付けに使用します。

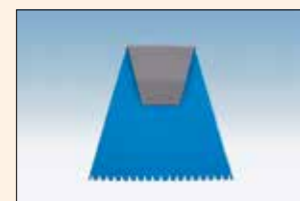
■規格：10kg/缶

### コートバケ



プレストコート類を塗布する際に使用する専用刷毛です。  
幅：192mm

### コートバケミニ



プレストコート類を断熱材やルーフィング接合部に塗布する際に使用する専用刷毛です。  
幅：120mm

### 転圧ローラー



ルーフィング類を張り付ける際に使用する専用ローラーです。  
幅：150mm

### 転圧ローラーミニ



ルーフィング接合部や立上りの転圧に使用する専用ローラーです。  
幅：50mm

## プライマー・下地調整材

### カスタムプライマー-E

ゴムアスファルトをベースとした水性系アスファルトプライマーです。

■規格：16kg/缶

### USプライマー-C2

プレストコート(V)やキュービックコートと仕上塗料の層間に使用するプライマーです。

■規格：16kg/缶

### USプライマー-M2

鉄部等の下地に使用する多目的プライマーです。

■規格：0.5kg、17kg/缶

### USプライマー-M6

シール材を施工する箇所や改修での既存アスファルト撤去時のアスファルト残存箇所に使用するプライマーです。(PN-56仕様、浴槽の場合)

■規格：8kg/セット

### AQシーラー

既存下地がアスファルト防水層である場合に使用する水性のアスファルト系下地調整材です。

2.0kg/m<sup>2</sup>以上で塗布した場合、1~2日程度の仮防水性があります。

■規格：A材(17kg/缶)  
B材(18kg×2袋)

### フィットエポ#10



コンクリート面に対して高い接着力を持つセメント系下地調整材です。3mm厚で塗布した場合、一時的な仮防水に使用できます。\*

■規格：粉体13kg×2袋  
主剤=4kg、硬化剤=4kg

### フィットリーチ



既存ウレタン・シート防水下地に適した下地調整材です。2mm厚で塗布した場合、一時的な仮防水に使用できます。\*

■規格：主剤=25kg  
混和液=4kg

### フィットベース



既存下地が露出アスファルト防水層の不陸調整に使用する水性のエポキシ樹脂系下地調整材です。

■規格：主剤(1kg/袋)  
硬化剤(3kg/袋) 粉体(15kg/袋)

\*ピンホールが生じた場合や、下地の動きや落下等でひび割れが発生した場合、塗布量が規定より少ない場合は、仮防水の性能はありません。

### ニューセッターボード



既存湿潤下地にも対応した、アスファルト系マッシュアップパネルです。

■規格：1000mm×1000mm 厚さ3mm

### ショウテック早強#200



既存バラベツ等の緊急補修用に開発された急結高強度無収縮既調合モルタルです。

■規格：混合剤(4kg、18kg/缶)  
粉体(25kg/袋)

# 使用材料 仕上塗料／断熱材／仕上材

## 仕上塗料

### 標準仕上塗料(遮熱)

#### プレノカラー 遮熱 グリーン 購入法適合

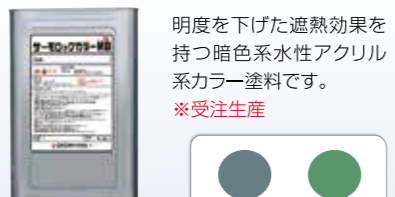


遮熱効果を持つ水性アクリル系カラー塗料です。



■規格：16.3kg/缶  
塗布量の目安：0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
塗替の目安：7~9年

#### サーモロックカラー-MB グリーン 購入法適合

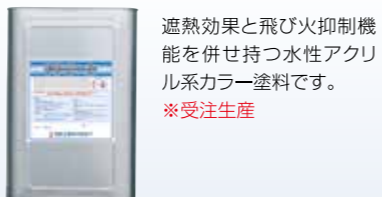


明度を下げた遮熱効果を持つ暗色系水性アクリル系カラー塗料です。  
※受注生産



■規格：16.3kg/缶  
塗布量の目安：0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
塗替の目安：7~9年

#### FPクール グリーン 購入法適合

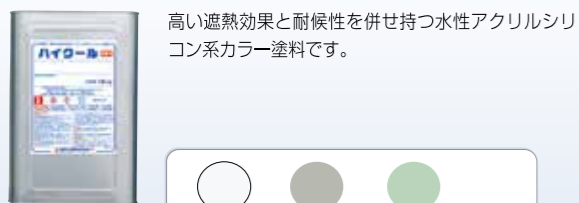


遮熱効果と飛び火抑制機能を併せ持つ水性アクリル系カラー塗料です。  
※受注生産



■規格：18kg/缶  
塗布量の目安：0.8kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
塗替の目安：10~13年

#### ハイクール グリーン 購入法適合



高い遮熱効果と耐候性を併せ持つ水性アクリルシリコン系カラー塗料です。



■規格：16kg/缶  
塗布量の目安：0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
塗替の目安：10~13年

### 飛び火対応仕上塗料

#### ロックコート



合成樹脂、無機難燃化剤等を主成分とする水性カラー塗料です。防水層の劣化を防ぐだけでなく、飛び火などによる延焼を抑制することができます。※受注生産(受注条件：50年程度以上)



■規格：20kg/缶  
塗布量の目安：0.8~2.0kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
塗替の目安：7~9年

注：色見本は印刷物ですので、現物の色調とは若干異なる場合があります。

## 断熱材(ノンフロ)



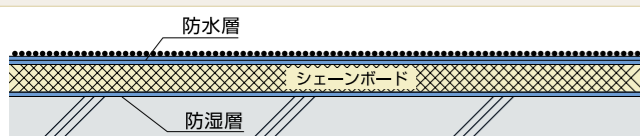
#### シェンボード グリーン 購入法適合

##### 硬質ウレタン系断熱材

硬質ウレタン系断熱材です。JIS A 9521(建築用断熱材)硬質ウレタンフォーム断熱材2種1・2号の透湿係数を除く規格に適合しています。

寸法(mm)	605×910					
厚さ(mm)	25	30	35	40	50	60*
梱包単位(枚)	20	15	15	10	10	8

※受注生産  
(地域によっては寸法が605×830mmになる場合があります)



※その他の厚さについては、ご相談ください。

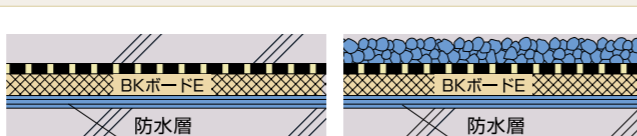


#### BKボードE グリーン 購入法適合

##### 押出成形ポリスチレン系断熱材

押出成形ポリスチレン系断熱材です。主に保護仕様で使用します。JIS A9521(建築用断熱材)押出成形ポリスチレンフォーム断熱材3種bAの認証品です。

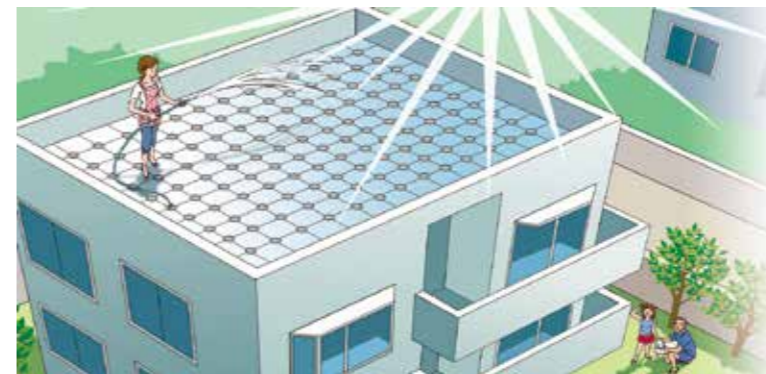
寸法(mm)	910×910				
厚さ(mm)	25	30	35	40	50, 60(受注生産)



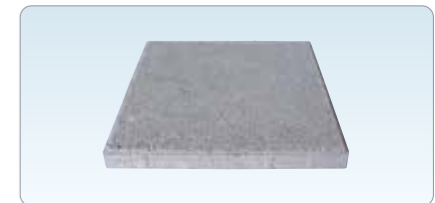
## 仕上材

### アースキーパーG 保水パネル

微細な多孔を有する骨材と吸水性に優れた繊維をセメントで固めたパネルです。断熱効果とともに、繊維の毛細管現象により、水分を効率よく吸収します。多量に保水することにより保冷時間が長く、打ち水効果で建物を冷却します。



#### ■アースキーパーG(陸屋根 軽歩行タイプ)



項目	アースキーパーG
素材成分	セメント成型板
サイズ	298mm×298mm 厚さ27mm*
乾燥時質量	3,900g/枚(43.9kg/m <sup>2</sup> )
保水時質量	4,500g/枚(50.6kg/m <sup>2</sup> )
保水量	0.26g/cm
曲げ強度	3.9N/mm <sup>2</sup>

※縦横寸法は誤差±3mm、厚さ寸法は、誤差±2mm程度あります。

※詳細は、「アースキーパー」カタログをご参照ください。

### PFシステム 乾式浮床システム

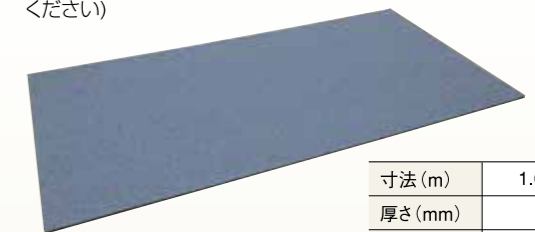
高さを自由に変えられるPFスタンドとコンクリート成型板などを組み合わせ防水層を保護すると同時に、段差のないパリアフリースペースを設ける工法です。



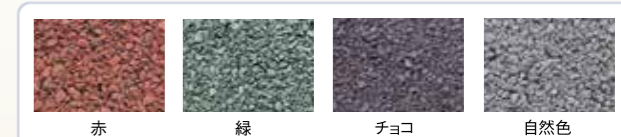
※詳細は、「PFシステム」カタログをご参照ください。

### トップタイト アスファルト成型板

表面に化粧砂粒を圧着したアスファルト成型板です。防水層の上に直接貼り付ける簡単な施工方法で、防水層の耐久性を向上させると共に軽歩行用途に適しています。(保護塗料の塗布・乾燥後に施工してください)



寸法(m)	1.0×0.5
厚さ(mm)	6.0
質量(kg)	5.5



※時期や枚数により、納期に時間をいただく場合があります。(約2週間程度)

### カーナート 屋上緑化システム



保水パネルとセダム植物を一体化することで、施工性が大幅に向上した「カーナートグリーンビスG」と日本の気候風土に合わせて開発された緑化基盤システム「カーナート緑化基盤」により、都市に、建物に、潤いと憩いの場を創出します。

※詳細は、「カーナート」カタログをご参照ください。

### ピロブロック コンクリート成型ブロック



防水層またはUSD工法の断熱材の上に敷き並べる仕上げ工法です。(非歩行)

寸法(m)	0.45×0.45/枚
厚さ(mm)	25
質量(kg)	11

※詳細は、「ピロブロック」カタログをご参照ください。

## 改修用ドレン マルエス鉛・銅ドレン

### マルエス鉛ドレンM

縦用



■外寸法：330mm×330mm  
×(H) 150mm  
■板厚：1.5mm

横用



■外寸法：330mm×330mm  
■ホース長：500mm  
■板厚：1.5mm

### マルエス銅ドレン

縦用



■外寸法：365mm×365mm  
×(H) 150mm  
■板厚：本体部 0.5mm  
筒部 0.7mm

横用



■外寸法：365mm×365mm  
■ホース長：600mm  
■板厚：本体部 0.5mm  
筒部 0.7mm

縦用	呼称	内径 (mm)	外径 (mm)	許容最大屋根面積 (m <sup>2</sup> )	横用	呼称	ドレン内径 (mm)	ジャバラ内径 (mm)	ジャバラ外径 (mm)	許容最大屋根面積 (m <sup>2</sup> )			
										配管こう配			
鉛ドレンM	φ40	34	37	23.9	鉛ドレンM	φ50	34	38.2	44.5	1/25	1/50	1/75	1/100
	φ50	43	46	44.7						—	—	—	—
	φ60	52	55	74.3						45.6	32.2	—	—
	φ70	60	63	108.8						110.8	78.3	64.0	—
	φ80	72	75	176.9						180.2	127.4	104.0	90.1
	φ90	84	87	266.8						271.8	192.2	156.9	135.9
銅ドレン	φ100	92	95	340.1	φ125	92	101.3	110.5	364.4	244.9	200.0	173.2	
	φ75	56.6	58.0	93.1	φ75	60.8	63.5	72.6	114.8	81.2	66.3	57.4	
	φ100	78.1	79.5	219.7	φ100	73.4	76.2	85.8	189.7	134.1	109.5	94.8	

※【SHASE-S 206-2019 給排水衛生設備標準・同解説】 4. 雨水配水管径の決定により算出(許容最大屋根面積は、雨量100mm/hを基準として算出しているもので、流速が0.6m/s未満または1.5m/sを超えるものは望ましくないため除外(一を記入))

### マルエスアルミドレンキャップ

■縦・大



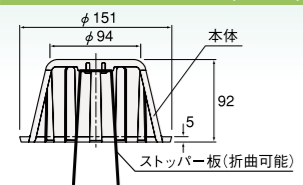
適用径 φ50~100

■縦・小



適用径 φ30~75

### マルエスドレンキャップ・縦(鉄鋳物)



適用径 φ50~100

### マルエスアルミドレンキャップ

■横自在



適用径 φ50~100

■横・小・平



適用径 φ40~65

■横・小・L



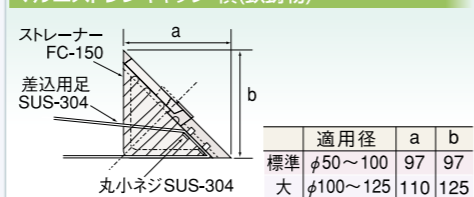
適用径 φ40~65

■横・大・自在



適用径 φ75~150

### マルエスドレンキャップ・横(鉄鋳物)



	適用径	a	b
標準	φ50~100	97	97
大	φ100~125	110	125

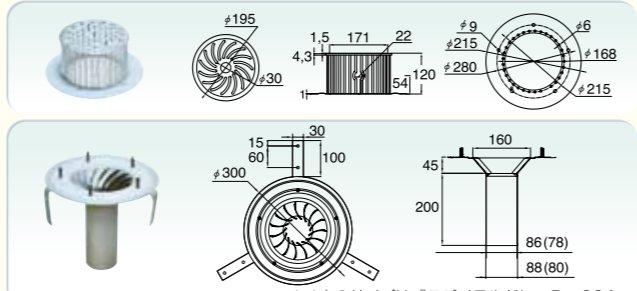
## 改修用ドレン スパイラルドレン

排水口がスパイラル(螺旋)構造となっており、排水機能が大幅に向上しております。また、ステンレス製(SUS304)なので耐食・耐久性に優れます。

### スパイラルドレンA φ88 / スパイラルドレンB φ80



■1個/箱  
(・ストレーナー  
・ナット  
・シリコンゴム  
同梱)



※( )内のサイズは「スパイラルドレンB φ80」

## 副資材

### キュービックコート



1液型無溶剤タイプの特種アスファルトです。架台回りに使用します。

■規格：10kg/缶入

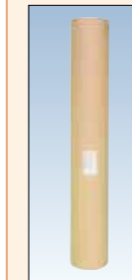
### クロスK



ポリエステル繊維メッシュのクロスです。主に架台回りに使用します。

■規格：1.02m×50m  
3.5kg/巻

### PTクロス



絶縁シート(フラットヤーンクロス)です。保護仕様で使用し、保護層の動きによる防水層や断熱材の損傷を抑制します。

■規格：1m×200m  
15kg/巻

### メジテープ



既存保護コンクリートの目地処理に使用します。\*受注生産

■規格：10cm×16m  
厚さ1.0mm(剥離フィルム込)

### USボンドA



1液型無溶剤タイプのアスファルト系接着剤です。断熱材の張付けや防水層端部のシール材として使用します。

■規格：20kg/缶、10kg/缶  
330mLカートリッジ 24本/箱入

### マルチシール



高耐候性変成シリコン系シール材です。防水層の端部部のシール等に使用します。

■規格：330mLカートリッジ24本/箱入

### 硬化促進剤PC



プレストコートに添加し、硬化を早める硬化促進剤です。(詳細は13頁をご参照ください。)

■規格：300mL/瓶入

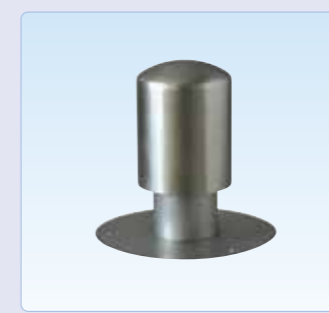
## 脱気装置 ニューステンレスベント・コア

### ニューステンレスベント

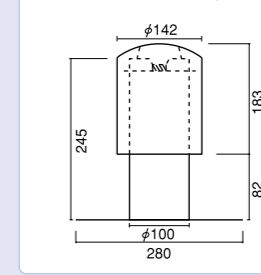
- 露出絶縁防水工法の平場より下地の湿気等を排出する脱気装置です。
- ステンレス製(SUS304)なので耐久性・耐腐食性良好です。
- 円筒部が大きいため施工性良好です。
- 形状がシンプルで頂部の開口部が大きいので脱気能力に優れています。

### コア

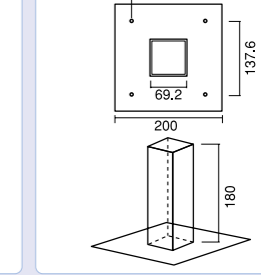
- 露出断熱工法の場合は、ニューステンレスベントの下部に使用します。



### ニューステンレスベント



### コア



## 太陽電池基礎架台

### PVマルチスタンド



### PVマルチスタンド断熱



	PVマルチスタンド	PVマルチスタンド断熱
規格	φ150×175mm(ボルト径:20mm)	φ150×210mm(ボルト径:20mm)
素材	ステンレス製(SUS 304)	ステンレス製(SUS 304)
梱包単位	2個入り/箱(ビス及びアンカー同梱)	2個入り/箱(ビス及びアンカー同梱)



詳細は専用カタログ「PVマルチスタンド」をご参照ください。

# 使用材料 マルエスアルミ水切り

## マルエスアルミ水切り

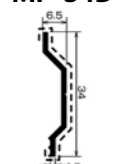
### ●MF (フラット)

MF-30D



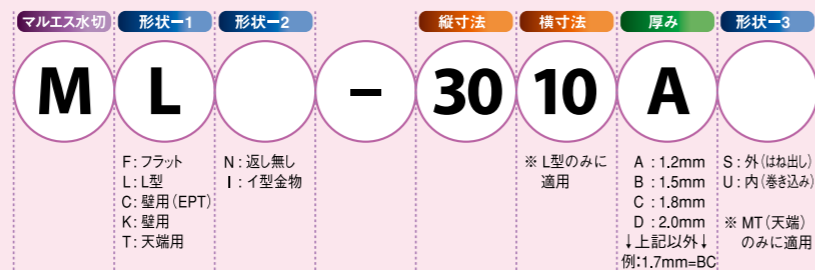
■規格：  
30mm×2m  
t=2.0mm

MF-34B



■規格：  
34×6.5mm×2m  
t=1.5mm  
ジョイント板別途(型材)

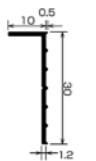
### 製品記号の見方



※アルミ水切りはMT-61BSを除き、全てビス穴無しで納材されます。ビス穴が必要な場合は27頁「製品発注に関する注意事項」をご参照ください。

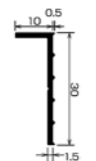
### ●ML (L型)

ML-3010A



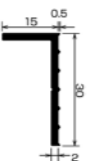
■規格：  
30×10mm×2m  
t=1.2mm

ML-3010B



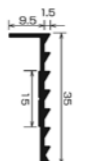
■規格：  
30×10mm×2m  
t=1.5mm

ML-3015D



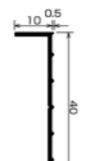
■規格：  
30×15mm×2m  
t=2.0mm

ML-3511A



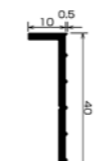
■規格：  
35×11mm×2m  
t=1.2mm

ML-4010A



■規格：  
40×10mm×2m  
t=1.2mm

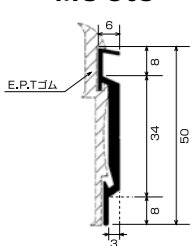
ML-4010D



■規格：  
40×10mm×2m  
t=2.0mm

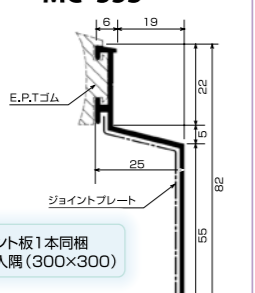
### ●MC (壁用水切EPTゴム付き)

MC-50S



■規格：2m  
■色：シルバー

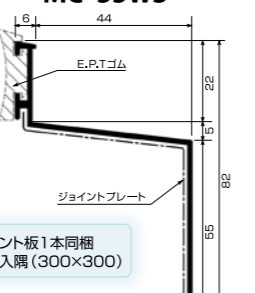
MC-55S



ジョイント板1本同梱  
出隅・入隅(300×300)

■規格：3m  
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック

MC-55WS

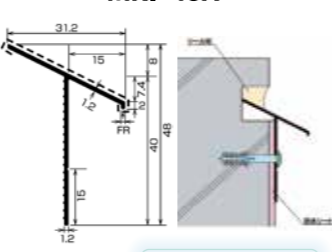


ジョイント板1本同梱  
出隅・入隅(300×300)

■規格：3m  
■色：シルバー、ブロンズ

### ●MK (壁用特殊)

MKI-48A

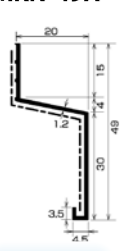


ジョイント板別途(型材)  
出隅・入隅(200×200)

■規格：2m  
■色：シルバー

### ●MK (壁用水切)

MKN-49A



ジョイント板別途(曲げ材)出隅・入隅(200×200)エンドキャップあり

■規格：2m、t=1.2mm  
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック、ステンカラー

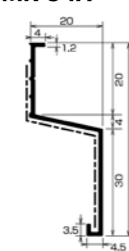
MKN-82A



ジョイント板別途(曲げ材)出隅・入隅(300×300)エンドキャップあり

■規格：2m、t=1.2mm  
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック、ステンカラー

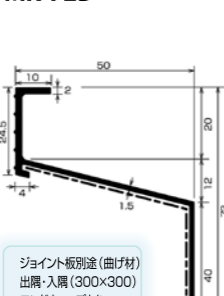
MK-54A



ジョイント板別途(曲げ材)出隅・入隅(200×200)エンドキャップあり

■規格：2m、t=1.2mm  
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック、ステンカラー

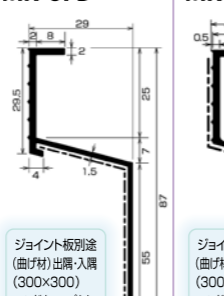
MK-72B



ジョイント板別途(曲げ材)出隅・入隅(300×300)エンドキャップあり

■規格：2m、t=1.5mm  
■色：シルバー

MK-87B



ジョイント板別途(曲げ材)出隅・入隅(300×300)エンドキャップあり

■規格：2m、t=1.5mm  
■色：シルバー、ブロンズ、ステンカラー

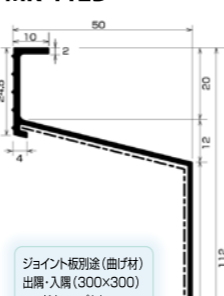
MK-92B



ジョイント板別途(曲げ材)出隅・入隅(300×300)エンドキャップあり

■規格：2m、t=1.5mm  
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック、ステンカラー

MK-112B



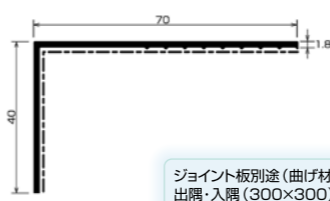
ジョイント板別途(曲げ材)出隅・入隅(300×300)エンドキャップあり

■規格：2m、t=1.5mm  
■色：シルバー

## マルエスアルミ水切り

### ●MT (天端用)

MT-40C



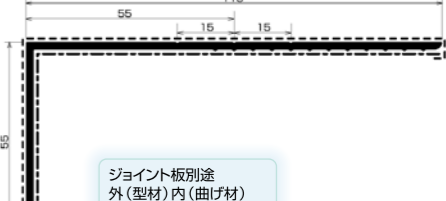
■規格：40×70mm×2m、t=1.8mm  
■色：シルバー、ブラック

MT-50BC



■規格：50×50mm×2m、t=1.7mm  
■色：シルバー

MT-55D



ジョイント板別途(型材)出隅・入隅(300×300)

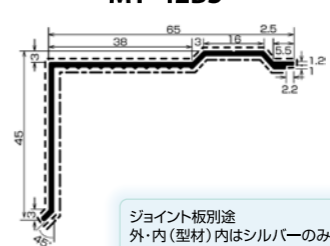
■規格：55×110mm×2m、t=2.0mm  
■色：シルバー

MT-42BU



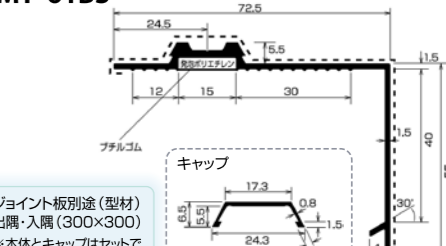
■規格：42×65mm×2m、t=1.5mm  
■色：シルバー

MT-42BS



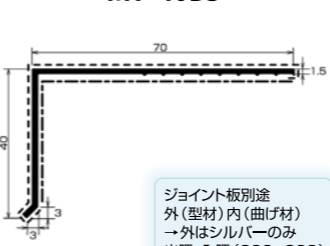
■規格：42×65mm×2m、t=1.5mm  
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック、ステンカラー

MT-61BS



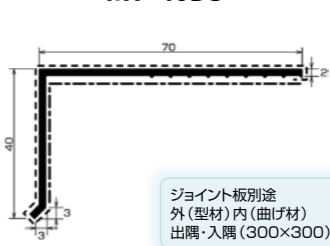
■規格：61×72.5mm×2m、t=1.5mm  
ビス穴あり(φ6, 8穴, 50mm)  
■色：シルバー

MT-40BS



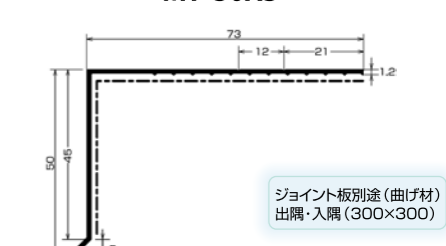
■規格：40×70mm×2m、t=1.5mm  
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック、ステンカラー

MT-40DS



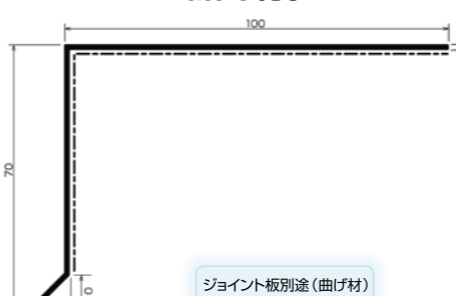
■規格：40×70mm×2m、t=2.0mm  
■色：シルバー

MT-50AS



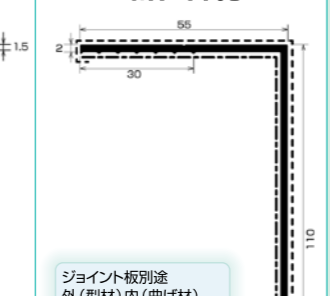
■規格：50×73mm×2m、t=1.2mm  
■色：シルバー

MT-70BS



■規格：70×100mm×2m、t=1.5mm  
■色：シルバー

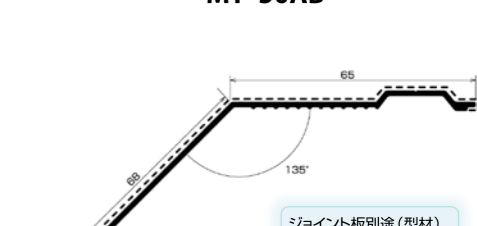
MT-110D



■規格：110×55mm×2m、t=2.0mm  
■色：シルバー

### ●MT (天端用特殊)

MT-50AB



■規格：H50 68×65mm×2m、t=1.3mm  
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック

プレストの特徴

防水仕様

施工工程図

技術資料

納まり図例

使用材料

施工のポイント

防水層の維持管理

# 使用材料 一覧表

## 材料一覧

	製品名	規格	厚さ(mm)	重量(kg)	備考
	プレストコートV	10kg/缶	—	10	1液型常温アスファルト系塗膜防水材(立上り用)
シート類	プレストキャップK	1m×8m/本	3.0	28	砂付改質アスファルトルーフィング(露出用)
	プレストS	1m×16m/本	1.5	30	部分粘着層付改質アスファルトルーフィング(非露出用)
	プレストF	1m×16m/本	1.5	28	粘着層付改質アスファルトルーフィング(非露出用)
	プレスト15	1m×16m/本	1.5	26	改質アスファルトルーフィング(非露出用)
	カスタムM	1m×16m/本	1.0	21	防湿用ルーフィング
	プライマー	カスタムプライマーE	16kg/缶	—	16
USプライマーC2		16kg/缶	—	16	仕上塗料 塗継用プライマー
USプライマーM2		0.5kg/缶、17kg/缶	—	0.5・17	多目的用プライマー
USプライマーM6		8kg(主剤4kg+硬化剤4kg)	—	8	層間用プライマー
下地調整材		AQシーラー	53kg(A材17kg、B材18kg×2袋)	—	53
	フィットエボ#10	34kg(主剤4kg+硬化剤4kg+粉体13kg×2袋)	—	34	水性エボキシ樹脂系下地調整材
	フィットリーチ	29kg(主剤25kg+混和液4kg)	—	29	水性カチオン樹脂系下地調整材
	フィットベース	19kg(主剤1kg+硬化剤3kg+粉体15kg)	—	19	水性エボキシ樹脂系下地調整材
	ニューセッターボード	1m×1m/枚	3.0	5.7	アスファルト系マスチックパネル
	ショウテック早強#200	43kg(混和剤18kg+粉体25kg)	—	43	急結高強度セメント系下地調整材
	仕上塗料	プレノカラー遮熱	16.3kg/缶	—	16.3
サーモロックカラーMB		16.3kg/缶	—	16.3	水性カラー暗色系遮熱(受注生産)
FPクール		18kg/缶	—	18	水性カラー飛び火抑制・遮熱塗料(受注生産)
ハイクール		16kg/缶	—	16	水性カラー高耐候遮熱塗料
ロココート		20kg/缶	—	20	水性カラー飛び火抑制塗料(受注生産)
仕上材	アースキーパーG	298mm×298mm	27	—	保水パネル(セメント成型板)
	トップタイト	500mm×1000mm	6	5.5	アスファルト成形板
	ピロブロック	450mm×450mm	25	11	乾式仕上材
副資材	マルエス鉛ドレンM	330mm×330mm	—	—	改修用鉛ドレン 縦・横
	マルエス銅ドレン	365mm×365mm	—	—	改修用銅ドレン 縦・横
	ドレンキャップ縦	p.22参照	—	—	改修ドレン用・ストレーナー 縦
	ドレンキャップ横	//	—	—	改修ドレン用・ストレーナー 横
	スパイラルドレン	//	—	—	改修用ドレン(ステンレス製)
ニューステンレスベント	p.23参照	—	—	ステンレス製脱気筒	
断熱材	BKポートE	910mm×910mm	—	—	押出成形ポリスチレン系断熱材
	シェーンポート	605mm×910mm	—	—	硬質ウレタン系断熱材
その他副資材	キュービックコート	10kg/缶	—	10	1液型アスファルト系塗膜防水材
	クロスK	1.02m×50m	—	3.5	キュービックコート用補強材
	PTクロス	1m×200m	—	15	絶縁用シート(フラットヤーンクロス)
	メジテープ	0.1m×16m	1.0	2.5	伸縮目地処理用テープ(受注生産)
	USボンドA	20kg、10kg/缶、330mLカートリッジ 24本/箱	—	—	アスファルト系断熱材用接着剤、防水層端部用シール材
	マルチシール	330mLカートリッジ 24本/箱	—	14.4	高耐候性変成シリコン系シール材
	硬化促進剤 PC	300mL/瓶	—	0.3	プレストコート用硬化促進剤
	バラクッション	970mm×80mm	17.0	—	入隅部・成型緩衝材
バラキャント	1000mm×25mm・30mm	—	—	入隅部・成型緩衝材(断熱用)	

## 材料一覧

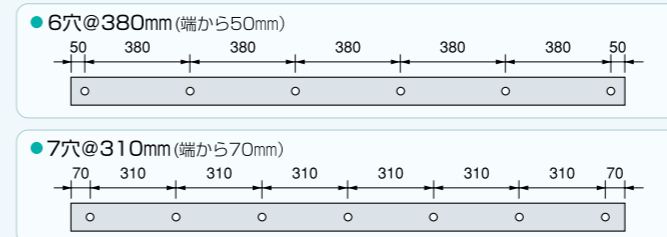
	製品名	規格	厚さ(mm)	ジョイント		コーナー		キャップ		備考
				外	内	出隅	入隅	右	左	
アルミ金物類	MF-30D	30mm×2m/本	2.0	—	—	—	—	—	—	フラット
	MF-34B	34×6.5mm×2m/本	1.5	○	—	—	—	—	—	
	ML-3010A	30×10mm×2m/本	1.2	—	—	—	—	—	—	L型アングル
	ML-3010B	30×10mm×2m/本	1.5	—	—	—	—	—	—	
	ML-3015D	30×15mm×2m/本	2.0	—	—	—	—	—	—	
	ML-3511A	35×11mm×2m/本	1.2	—	—	—	—	—	—	
	ML-4010A	40×10mm×2m/本	1.2	—	—	—	—	—	—	
	ML-4010D	40×10mm×2m/本	2.0	—	—	—	—	—	—	
	MC-50S	2m/本	—	—	—	○	○	—	—	
	MC-55S	3m/本	1.4	—	○	○	○	—	—	
	MC-55WS	3m/本	1.4	—	○	○	○	—	—	
	MKN-49A	2m/本	1.2	—	○	○	○	○	○	壁用
	MKN-82A	2m/本	1.2	—	○	○	○	○	○	
	MK-54A	2m/本	1.2	—	○	○	○	○	○	
	MK-72B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○	
MK-87B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○		
MK-92B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○	天端用	
MK-112B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○		
MKI-48A	2m/本	1.2	○	—	○	○	—	—		壁用(特殊)
MT-40C	40×70mm×2m/本	1.8	—	○	○	○	—	—		
MT-50BC	50×50mm×2m/本	1.7	—	○	○	○	—	—		
MT-55D	55×110mm×2m/本	2.0	○	○	○	○	—	—		
MT-42BU	42×65mm×2m/本	1.5	○	—	○	○	—	—		
MT-42BS	42×65mm×2m/本	1.5	○	○*	○	○	—	—		
MT-61BS(キャップ付)	61×72.5mm×2m/本	1.5	○	—	○	○	—	—		
MT-40BS	40×70mm×2m/本	1.5	○*	○	○	○	—	—		
MT-40DS	40×70mm×2m/本	2.0	○	○	○	○	—	—		
MT-50AS	50×73mm×2m/本	1.2	—	○	○	○	—	—		
MT-70BS	70×100mm×2m/本	1.5	—	○	○	○	—	—		
MT-110D	110×55mm×2m/本	2.0	○	○	○	○	—	—		
MT-50AB	H50mm 68×65mm×2m/本	1.3	○	—	○	○	—	—	天端用(特殊)	

\*ジョイント板の取扱いはシルバーのみです。

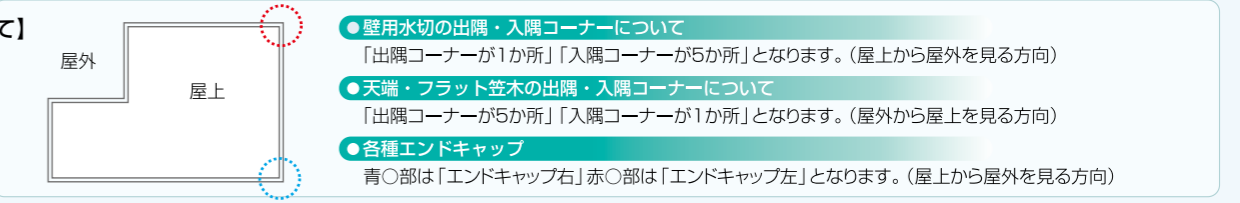
### ●製品発注に関する注意事項

アルミ金物はMT-61BSを除き、全てビス穴無しで納材されます。ビス穴が必要な場合は発注時に必ず「ビス穴有り」と明記し「穴数」「穴径」\*「穴ピッチ」「端からの距離」をご指定ください。(下図参照)

【穴アケ参考ピッチ】 \*穴径はφ4.5・φ5・φ5.5・φ6・φ6.5の5種類から選択可能です。



### 【役物回りについて】

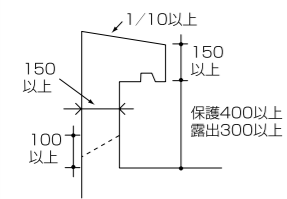


# 施工のポイント 防水下地のチェックポイント

## 新築工事 チェックポイント

### パラペット

- スラブと同時打設を原則とします。打継ぐ場合は、パラペットに接するスラブの水上天端から100mm以上とし、打継面は外勾配とします。
- 立上り厚とアゴの見付厚は150mm以上としダブル配筋とします。
- パラペット天端は1/10以上の水勾配を付けます。
- アゴのある場合は、水上でもスラブ面からアゴ下までを保護工法では400mm以上、露出工法では300mm以上を推奨します。(アゴの無い場合は、内側のパラペット高さ)



### 勾配

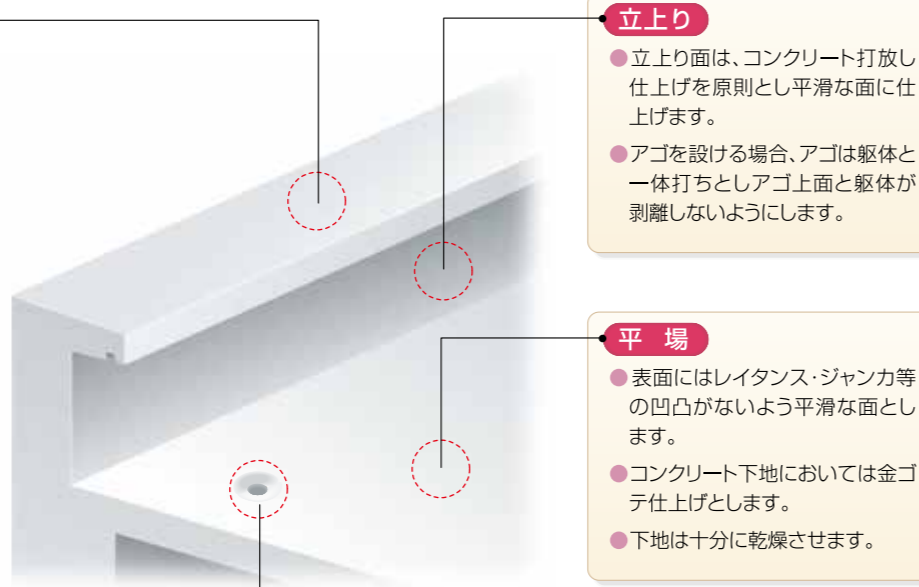
- 必ず躯体でとります。
- 勾配は1/100～1/20とし、工法により異なります。

### 現場打コンクリートの場合のチェックポイント

- 1 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。
- 2 表面は平滑になっているか。
- 3 ジャンカ等の不良部分及び突起物がないか。レイトンス等の脆弱部分がないか。
- 4 出入隅部分の形状は規定通りになっているか。入隅部は直角とする。出隅部は小面取りとする。
- 5 ルーフドレンの種別は防水工法にあっていないか。
- 6 ルーフドレンの取付け位置は適切か。
- 7 下地の乾燥は十分か。

### PC・ALC等のパネル類の場合のチェックポイント

- 1 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。
- 2 継ぎ手部分に段差が生じていないか。
- 3 継ぎ手目地部分の充てんモルタルが浮いていないか。
- 4 パネル類に欠損分がないか。取付けボルト等が突出していないか。
- 5 パネル類は梁・母屋等に堅固に固定されているか。
- 6 パネル類の表面に離型材等の油脂類が付着していないか。
- 7 パネル類の表面に脆弱部分がないか。
- 8 出入隅部分の形状は規定通りになっているか。入隅部は直角とする。出隅部は小面取りとする。
- 9 ルーフドレンの種別は防水工法にあっていないか。
- 10 ルーフドレンの取付け位置は適切か。
- 11 下地の乾燥は十分か。



### 立上り

- 立上り面は、コンクリート打直し仕上げを原則とし平滑な面に仕上げます。
- アゴを設ける場合、アゴは躯体と一体打ちとしアゴ上面と躯体が剥離しないようにします。

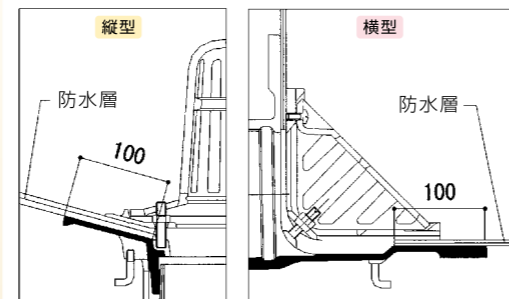
### 平場

- 表面にはレイトンス・ジャンカ等の凹凸がないよう平滑な面とします。
- コンクリート下地においては金ゴテ仕上げとします。
- 下地は十分に乾燥させます。

### 排水

- ルーフドレンの排水分担面積は十分に余裕をもたせます。
- 本体受皿はスラブより30～50mm程度下げます。
- 設置位置はパラペットより300mm程度離して取付けます。

### ルーフドレン ● 防水層施工張り代 100mm



## 改修工事 チェックポイント

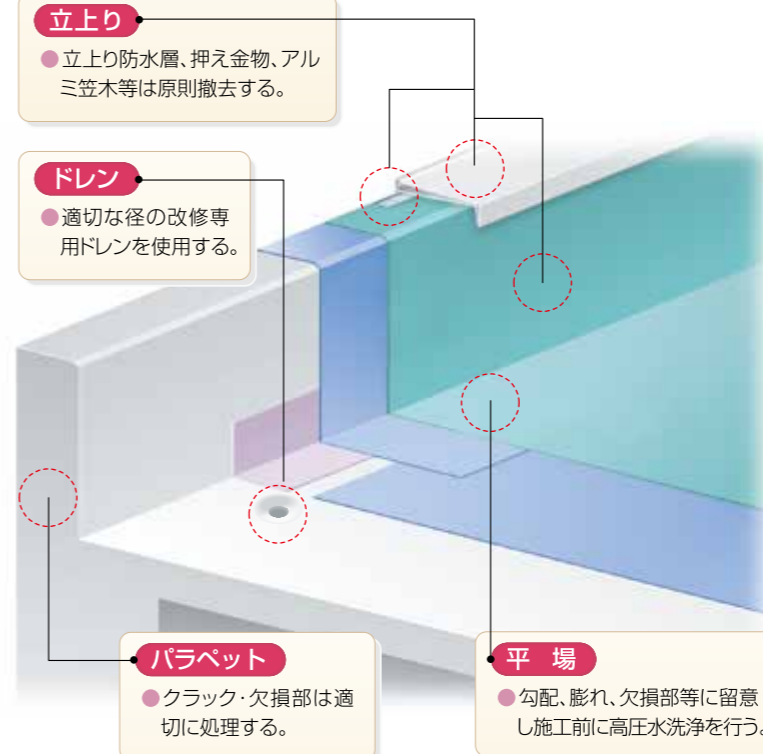
### 露出防水層の場合

#### 立上り

- 立上り防水層、押え金物、アルミ笠木等は原則撤去する。

#### ドレン

- 適切な径の改修専用ドレンを使用する。



#### パラペット

- クラック・欠損部は適切に処理する。

#### 平場

- 勾配、膨れ、欠損部等に留意し施工前に高圧水洗浄を行う。

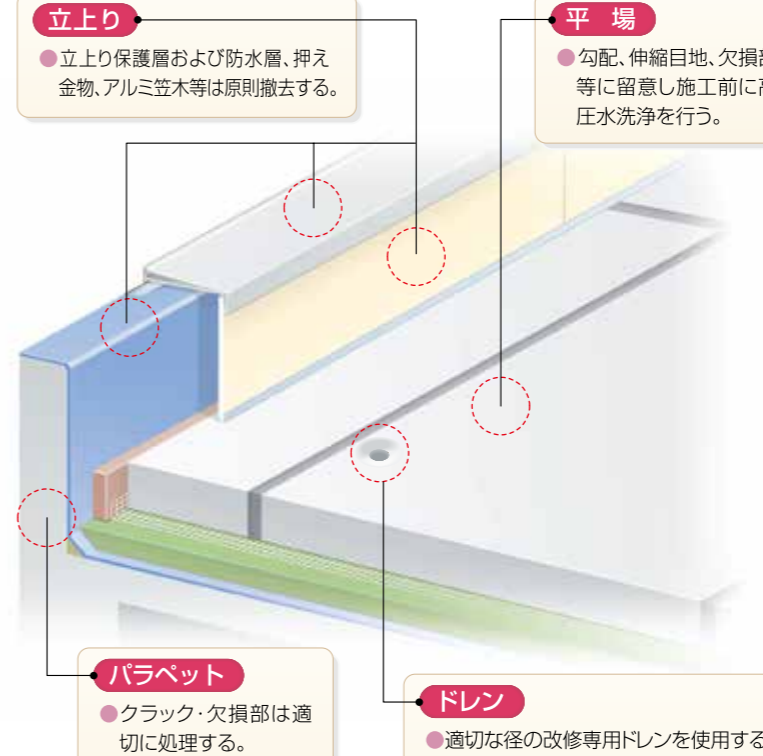
### 保護防水層の場合

#### 立上り

- 立上り保護層および防水層、押え金物、アルミ笠木等は原則撤去する。

#### 平場

- 勾配、伸縮目地、欠損部等に留意し施工前に高圧水洗浄を行う。



#### パラペット

- クラック・欠損部は適切に処理する。

#### ドレン

- 適切な径の改修専用ドレンを使用する。

### 下地が露出防水層の場合のチェックポイント

- 1 既存防水層に雨漏りはないか。→雨漏りしている場合は、なるべく撤去工法を選択してください。
- 2 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。→適切な下地調整を行ってください。
- 3 高圧水洗浄等で、ホコリや汚れは除去されているか。
- 4 膨れ部分の処理は適切か。(下図参照)
- 5 防水層欠損部の処理は適切か。
- 6 ドレンや排水溝回り等の植物の除去は行っているか。
- 7 パラペットのクラック・欠損部の処理は適切か。
- 8 改修用ドレンは専用ドレンが使用されているか。(鉛ドレン・銅ドレン)
- 9 立上り部の防水層の処置は適切か。(原則として、撤去します)

### 膨れ部分の切開方法

#### 十字型



#### H型



### 下地が保護防水層の場合のチェックポイント

- 1 既存防水層に雨漏りはないか。→雨漏りしている場合は、なるべく撤去工法を選択してください。
- 2 新規防水層は絶縁工法が採用されているか。
- 3 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。→適切な下地調整を行ってください。
- 4 高圧水洗浄等で、ホコリや汚れは除去されているか。
- 5 適切な下地調整が行われているか。
- 6 伸縮目地の処理は適切か。(撤去してメジテープ等で処理)
- 7 ドレンや排水溝回り、伸縮目地等の植物の除去は行っているか。
- 8 平場及びパラペットのクラック・欠損部の処理は適切か。
- 9 改修用ドレンは専用ドレンが使用されているか。(鉛ドレン・銅ドレン)
- 10 立上り部の防水層の処置は適切か。(原則として、防水層および保護層は撤去します)

# 施工のポイント 施工管理のチェックポイント

## 露出仕様 チェックポイント

**立上り**

- 立上りの高さは水上でも仕上げ面から200mm以上とします。
- 防水層の端末は、シール処理を行います。

**平場**

- 絶縁工法の場合は膨れ発生防止のため、下地は十分に乾燥させ、さらに脱気筒(ニューステンレスベント)を50~100㎡に1箇所程度設置します。

**設備等基礎類の設置**

- 直接基礎類を設置すると防水層が損傷しますので躯体から立上げるようにします。
- 防水層の上にやむを得ず設置する際には集中荷重にならないよう基礎の設置面積を大きくし、保護材を設けて設置します。

### チェックポイント

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 プライマー・接着剤等は十分に攪拌して使用しているか。</li> <li>2 プライマーは規定量を全面にムラなく塗布しているか。</li> <li>3 塗布したプライマーは十分に乾燥しているか。</li> <li>4 断熱材を施工する場合、接着剤は規定通りに塗布しているか。</li> <li>5 出入隅及び出入隅角部に、規定の増張りをしているか。</li> <li>6 ドレン、パイプ回り等に、規定の増張りをしているか。</li> <li>7 ルーフィング接合部を、逆張りにしていないか。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>8 ルーフィング接合部の重ね幅は規定通りになっているか。</li> <li>9 張り付けたルーフィングに「シワ・膨れ」等が生じていないか。</li> <li>10 ルーフィングの下に小石などの異物がないか。</li> <li>11 立上りは規定の高さまで施工しているか。</li> <li>12 張り仕舞処理は規定通りになっているか。</li> <li>13 仕上塗料は規定量を全面にムラなく塗布しているか。</li> </ol> |
|--|--|

## 保護仕様 チェックポイント

**立上り保護**

- 立上りは一般的に乾式保護材を使用します。
- 防水層の端末は、シール処理を行います。

※立上りに保護コンクリートを打設する場合は、躯体に仕込んだ鉄筋と保護コンクリートの鉄筋を緊結します。

**立上り高さ**

- 防水層の立上りは仕上げ面から200mm以上(水上)とします。

**押えコンクリート**

- 普通コンクリートとし、コンクリートの厚みは一般的に80mm以上です。
- ひび割れ防止のため、溶接金網(φ3.2~5.5mm、100×100mm程度)をコンクリート厚の中央となるよう設置します。
- 防水層・断熱材施工後、すみやかに打設します。

**伸縮目地**

- 立上り押えの仕上面から300~600mmの位置に幅25mm以上のボーダー目地をとり、屋根全面に幅25mm以上の目地を2~3m間隔で設けます。また、各目地は立上り面まできちんと通します。
- 防水層の表面まで達するように施工します。

**立上り際**

- 必ず成形緩衝材を設けます。(パラクッション・パラキャント等)

**押え層と防水層の絶縁**

- 押え層の動きによる防水層や断熱材の損傷を軽減するため、PTクロスを施工します。

### チェックポイント

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 プライマー・接着剤等は十分に攪拌して使用しているか。</li> <li>2 プライマーは規定量を全面にムラなく塗布しているか。</li> <li>3 塗布したプライマーは十分に乾燥しているか。</li> <li>4 出入隅及び出入隅角部に、規定の増張りをしているか。</li> <li>5 ドレン、パイプ回り等に、規定の増張りをしているか。</li> <li>6 ルーフィングの接合部を、逆張りにしていないか。</li> <li>7 ルーフィング接合部の重ね幅は、規定通りになっているか。</li> <li>8 張り付けたルーフィングに「シワ・膨れ」等が生じていないか。</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>9 ルーフィングの下に小石などの異物がないか。</li> <li>10 立上りは規定の高さまで施工しているか。</li> <li>11 張り仕舞処理は、規定通りになっているか。</li> <li>12 断熱材を施工する場合、接着剤は規定通りに塗布しているか。</li> <li>13 絶縁用シートは規定通りになっているか。</li> <li>14 立上り際に成形緩衝材を施工しているか。</li> </ol> |
|---|---|

プレストの特徴  
 防水仕様  
 施工工程図  
 技術資料  
 納まり図例  
 使用材料  
 施工のポイント  
 防水層の維持管理



# 維持管理 防水層の維持管理について

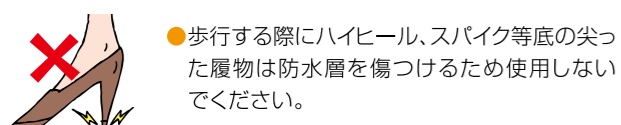
## 屋上・ルーフバルコニー・ベランダ等をご利用される方へ

防水層が長期間にわたって安定した防水性能(機能)や美しい外観を保つために、日頃から下記の点にご注意いただき、定期的な自主点検とメンテナンスを実施されることをお奨めします。

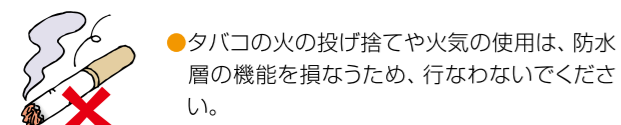
### 使用上の注意

#### 1. 露出防水の場合—防水層上の注意点—

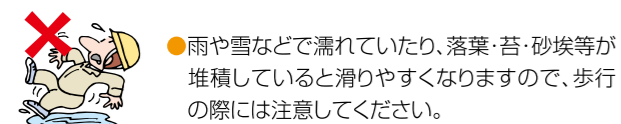
原則として維持・管理・点検以外の歩行及び使用はしないでください。



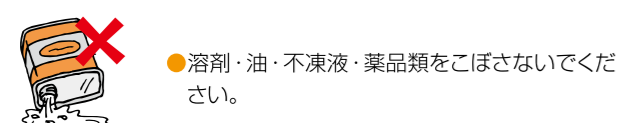
●歩行する際にハイヒール、スパイク等底の尖った履物は防水層を傷つけるため使用しないでください。



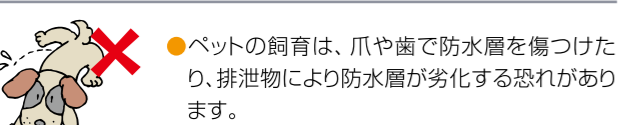
●タバコの火の投げ捨てや火気の使用は、防水層の機能を損なうため、行なわないでください。



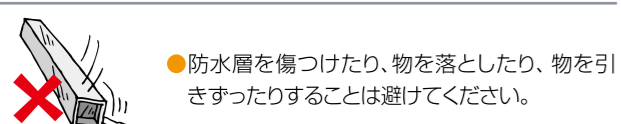
●雨や雪などで濡れていたり、落葉・苔・砂埃等が堆積していると滑りやすくなりますので、歩行の際には注意してください。



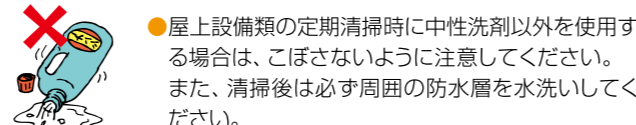
●溶剤・油・不凍液・薬品類をこぼさないでください。



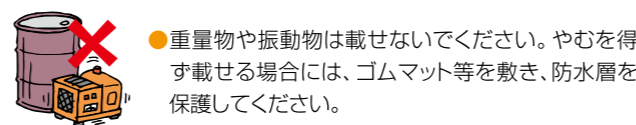
●ペットの飼育は、爪や歯で防水層を傷つけたり、排泄物により防水層が劣化する恐れがあります。



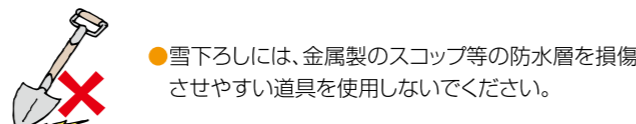
●防水層を傷つけたり、物を落としたり、物を引きずったりすることは避けてください。



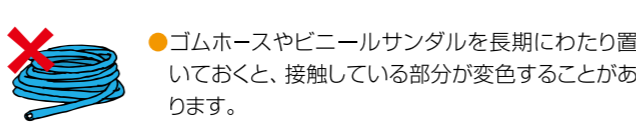
●屋上設備類の定期清掃時に中性洗剤以外を使用する場合は、こぼさないように注意してください。また、清掃後は必ず周囲の防水層を水洗いしてください。



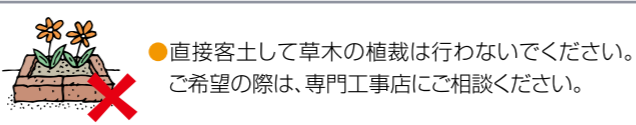
●重量物や振動物は載せないでください。やむを得ず載せる場合には、ゴムマット等を敷き、防水層を保護してください。



●雪下ろしには、金属製のスコップ等の防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。

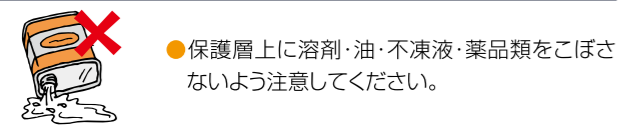


●ゴムホースやビニールサンダルを長期にわたり置いておくと、接触している部分に変色することがあります。

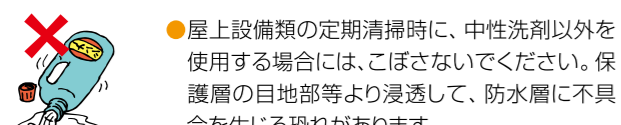


●直接客土して草木の植栽は行わないでください。ご希望の際は、専門工事店にご相談ください。

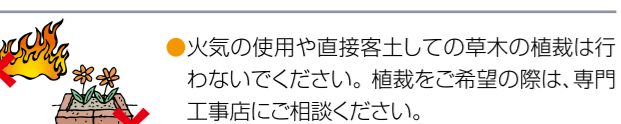
#### 2. 保護防水の場合



●保護層上に溶剤・油・不凍液・薬品類をこぼさないよう注意してください。



●屋上設備類の定期清掃時に、中性洗剤以外を使用する場合には、こぼさないでください。保護層の目地部等より浸透して、防水層に不具合を生じる恐れがあります。



●火気の使用や直接客土しての草木の植栽は行わないでください。植栽をご希望の際は、専門工事店にご相談ください。

●後から設備基礎等の施設を設置する場合には、設置法によっては保護層を貫通して防水層を損傷する恐れがありますので、保護層の構造・厚み・積載荷重を考慮して設置してください。

●目地部やドレン部に植物の繁茂が認められた場合には、防水層を貫通・損傷の恐れがありますので、むやみに引き抜いたりせず専門工事店にご相談ください。

### 自主点検時の注意

- 天候が降雨・強風の場合は、滑落等の危険がありますので、行なわないでください。
- 原則として二人以上で行い、一人では行なわないでください。
- 階段や梯子の昇降には十分注意してください。
- 後ろ向きの移動は危険ですので、絶対行なわないでください。
- 屋上設備類には、むやみに触れないでください。
- 降雨後に点検する場合は、床が滑りやすくなっていますので、十分注意してください。
- 危険と思われる場所(恐いと思う場所)には、無理に近づかず業者に依頼してください。

### メンテナンスのお願い及び注意

#### 1. 露出防水の場合(砂付きルーフィング仕上げ)

##### お願い

- 防水層の表面状況の点検や漏水の有無の確認(1年に1回以上)をしてください。
- 防水層端部押え金物回りの点検(1年に1回以上)をしてください。水切金物、笠木の設置状況及び端部処理シール材の劣化状況を確認してください。異常がみられる場合は、施工業者にご相談ください。
- 定期的(3~6ヶ月程度)に清掃を行ってください。飛来物や排水溝、ドレン部分の泥、枯葉等はよく除去し、水溜りのないようにしてください。
- 定期的(3~6ヶ月程度)に次のように表面状態の点検を行ってください。保護塗料が薄くなっている、剥離を起こしている、ひび割れがある等の異常や植物の繁茂が認められた場合には、施工業者に連絡してください。特に植物の繁茂は繁茂箇所によっては、根が防水層を貫通していることもあり得ますので、むやみに引き抜かないでください。

##### 注意

露出防水層には下記のような現象が見られる場合がありますが、防水性能には支障ありません。

- 施工時にルーフィングの接合部よりはみ出したプレストコートに生じるひび割れ。
- 雨水が滞留し易い箇所に花粉、泥、塵埃(黄砂を含む)等が堆積し、乾燥・湿潤を繰り返す事により発生する表層のひび割れ、捲れ、剥離。
- 表層砂粒への錆の付着及び砂粒に含まれる鉄分による錆の発生。
- ルーフィングに付着している余剰砂の脱落。
- 表層砂粒間に入り込んだ水分(湿気)による表面の膨れ及び下地に含まれる水分による軽度な防水層の膨れ。
- 仕上(保護)塗料の自然な変色・退色・減耗・ひび割れ。

#### 2. 保護防水の場合

- 保護層の表面状況の点検や漏水の有無の確認(1年に1回以上)をしてください。
- 植物の生育発生状況の点検、ドレン清掃(3~6ヶ月程度)をしてください。伸縮目地部、ドレン回りに砂埃等が堆積していると植物の生育しやすい環境になります。飛来物や排水溝、ドレン部分の泥、枯葉等はよく除去し、水溜りのないようにしてください。植物の繁茂が認められた場合には、施工業者に連絡してください。繁茂箇所によっては、根が防水層を貫通していることもあり得ますので、むやみに引き抜かないでください。

防水層の補修、仕上塗料の塗り替えは専門技術が必要です。弊社又は専門工事店に依頼してください。(有償)

#### ■ひび割れについて

※プレストキャップK接合部のプレストコートはみ出し部分(仕上塗料がある場合は仕上塗料部分)は下図に示すように、防水層の表面にあり、ひび割れは防水層に及んでおりませんので、防水上問題はありせん。

